



ARCHITREND
リフォームエディション

水廻りのリフォーム編

目次

作成するプラン _____ 3

1 現況図の作成 _____ 4

1-1 現況図の入力 _____	4
部屋を入力する _____	4
建具を入力する _____	4
設備機器を入力する _____	5
階段を入力する _____	6
[補足] 階段デザインシミュレーションについて _____	6
階段中央の壁を入力する _____	7
内壁仕上を再配置する _____	7
天井仕上を再配置する _____	7
既存造作部材を入力する _____	8
立体を確認する _____	8
データを保存する _____	8

2 計画図の作成 _____ 9

2-1 計画図データの作成 _____	9
計画図を開く _____	9
不要な設備機器を削除する _____	9
2-2 間取りの変更 _____	10
部屋を分割する _____	10
部屋を合成する _____	10
部屋を入れ替える _____	11
2-3 壁・仕上の編集 _____	12
壁を編集する _____	12
壁・腰壁を入力する _____	12
仕上を再配置する _____	13
2-4 内装の変更 _____	14
建具を入力する _____	14
内窓を入力する _____	14
設備機器を入力する _____	15
設備機器を移動する _____	15
コンセントを入力する _____	16
現況図と比較する _____	16
立体を確認する _____	16
内壁仕上を変更する _____	17
パースから素材を変更する _____	18
パースから建具を変更する _____	19
造作棚を入力する _____	20

家具を入力する _____	21
照明器具を入力する _____	22
パースから部品を入力する _____	23
変更前と比較する _____	23
リフォームエリアを設定する _____	24
データを保存する _____	24

3 パースの作成 _____ 25

3-1 視点の設定 _____	25
図面でカメラを登録する _____	25
カメラに画像を設定する _____	26
パースにカメラを取り込む _____	26
3-2 内観パースの作成 _____	27
画像を作成する _____	27
建具を開いたパースを作成する _____	28
3-3 鳥瞰パースの作成 _____	29
立体タイプを変更する _____	29
鳥瞰の作成条件を変更する _____	29
画像を作成する _____	29
データを保存する _____	30
[補足] 作成できる立体の種類 _____	31

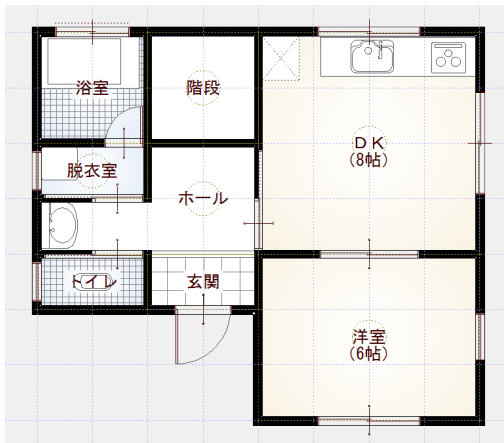
4 図面の印刷 _____ 32

4-1 プレゼンボードの作成 _____	32
図枠を配置する _____	32
図面を配置する _____	32
図面タイトルを移動する _____	32
パースを配置する _____	33
2面目を開く _____	33
図枠・図面を配置する _____	33
図面タイトルを非表示にする _____	34
文字列を変更する _____	34
3面目を作成する _____	35
データを保存する _____	35
4-2 提案シートの作成 _____	36
画像を設定する _____	36
提案シートを作成する _____	38
[補足] 「水廻りリフォームのご提案」の レイアウトと連動する画像 _____	39

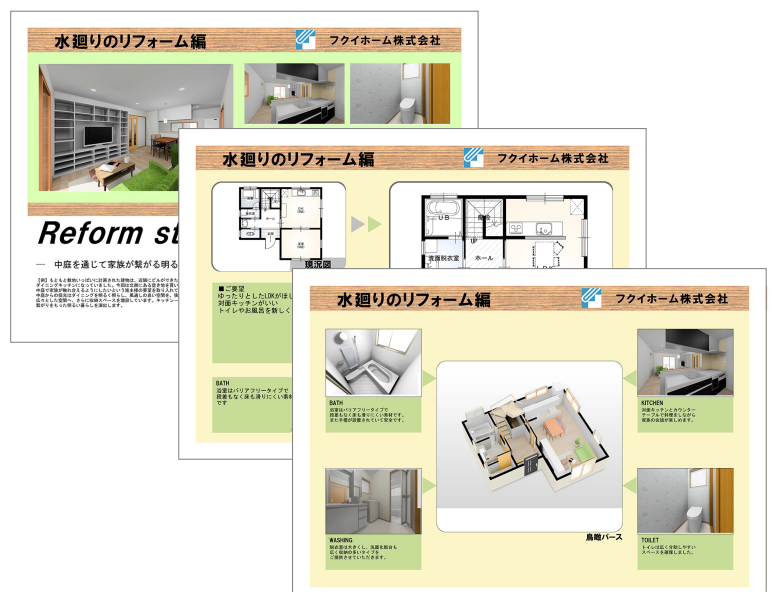
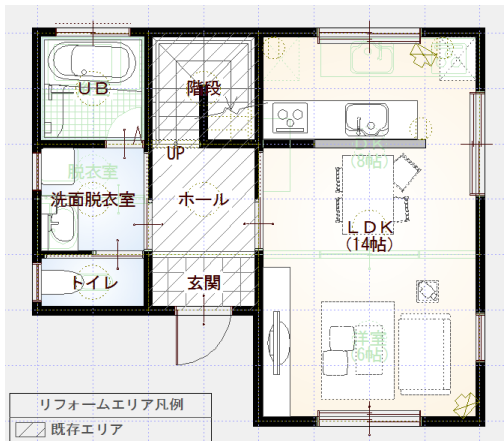
作成するプラン

「水廻りのリフォーム編」では、改築をともなう内装リフォームを例に、間取りや柱壁の編集、プレゼンボードの作成、提案シートの作成などの流れを解説します。

現況図



計画図



1 現況図の作成

マネージャーで新しい工事を作成して、現況図を入力しましょう。

ここでは、「基本操作編」「リフォームプラン作成」で解説した内容については、簡略化して解説しています。

1-1 現況図の入力

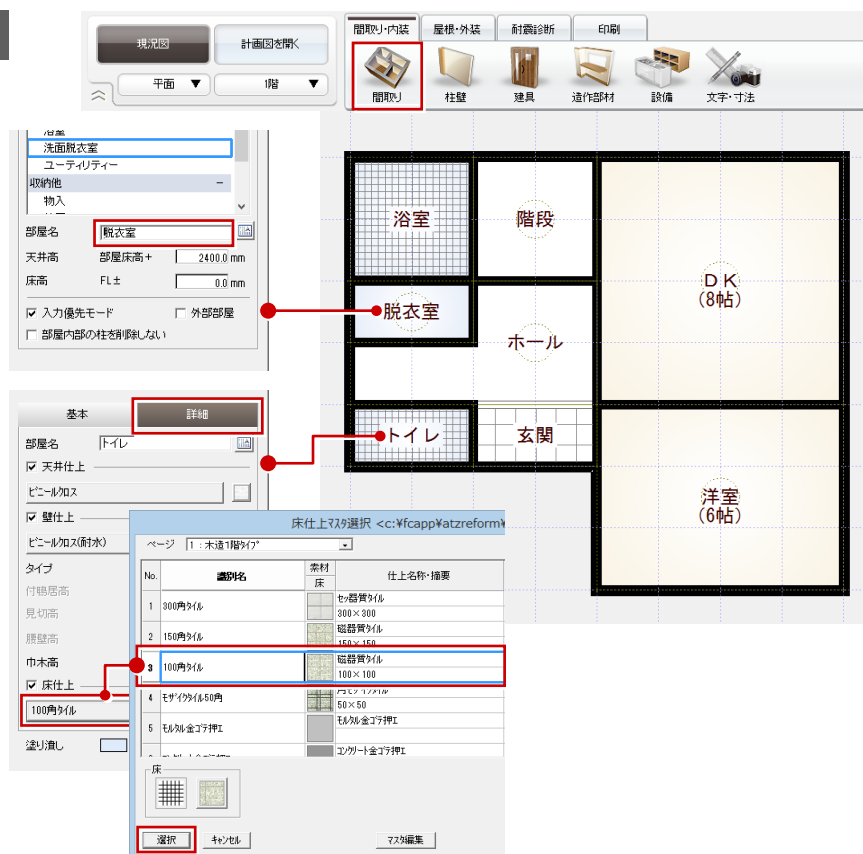
部屋を入力する

右図のように部屋を入力します。

⇒ 部屋入力については、「基本操作編」P.5 参照

※「脱衣室」は、「洗面脱衣室」の部屋名を変更して入力します。

※「トイレ」は、床仕上をタイルに変更して入力します。
(プロパティの「詳細」をクリックして、床仕上を「No.3 : 100 角タイル」に変更)

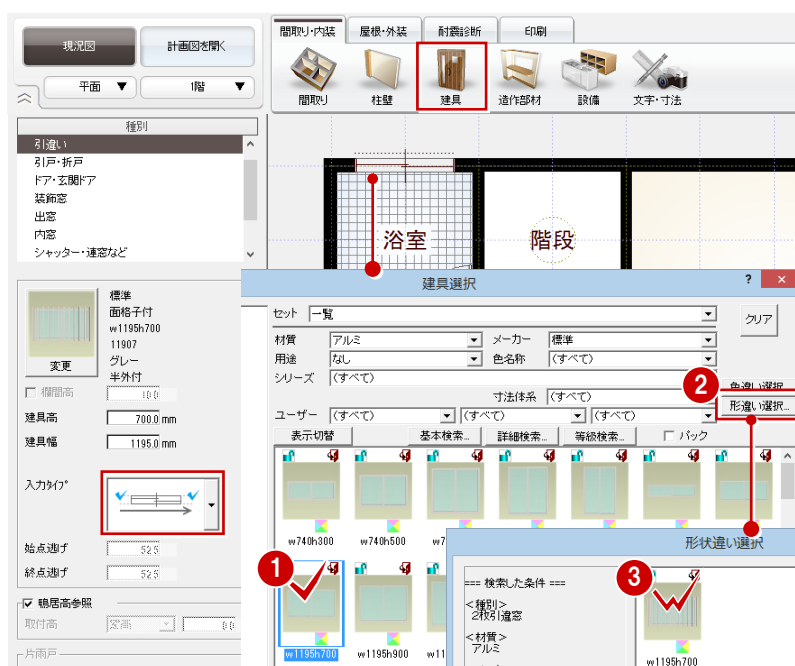


建具を入力する

「建具」をクリックして、建具を入力します。

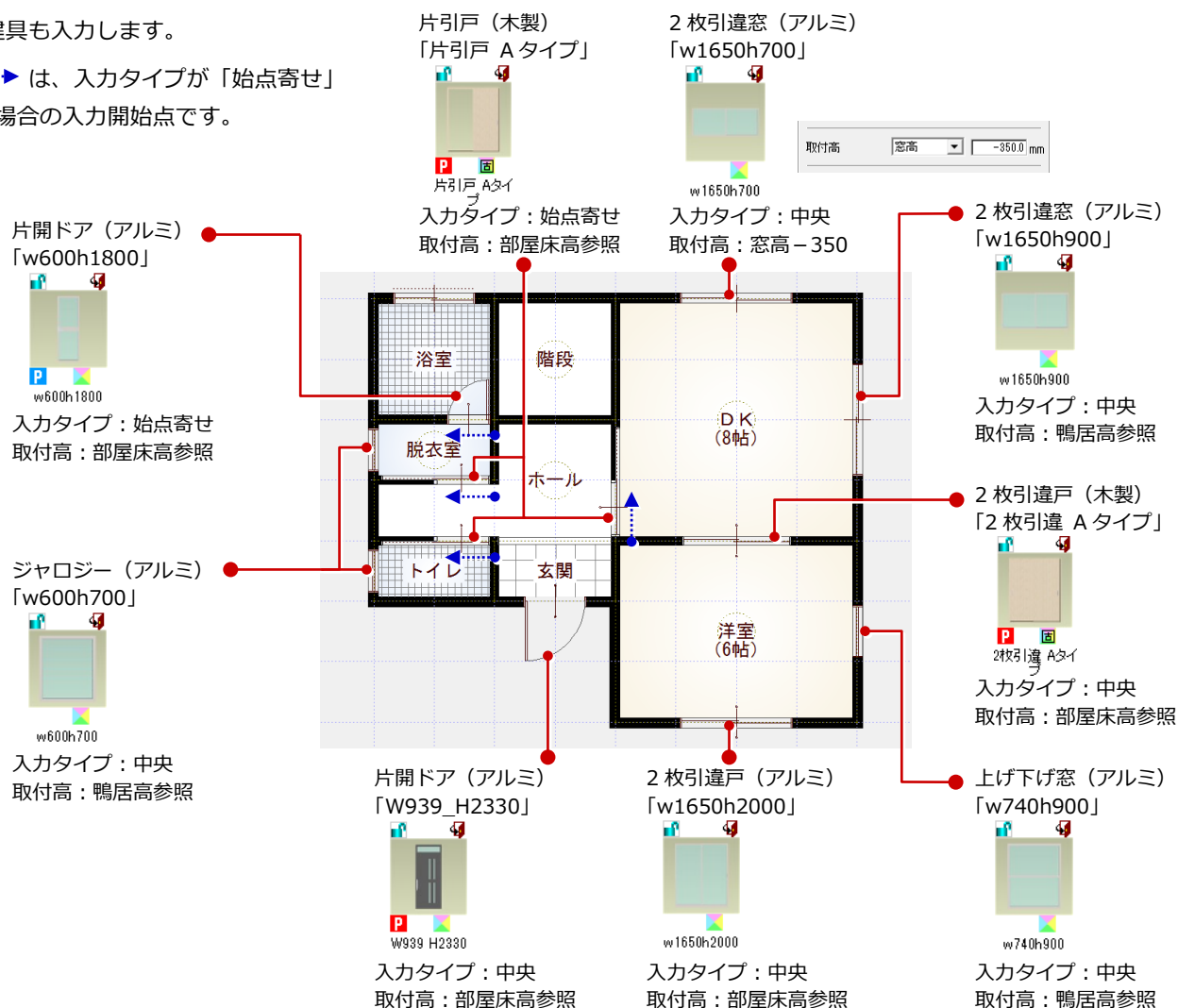
⇒ 建具入力については、「リフォームプラン作成編」P.6 参照

※ 浴室の「面格子付 w1195h700」は、右図 ①～③ の手順で選択します。
入力タイプは「中央」を使用します。



他の建具も入力します。

※ ●→ は、入力タイプが「始点寄せ」の場合の入力開始点です。

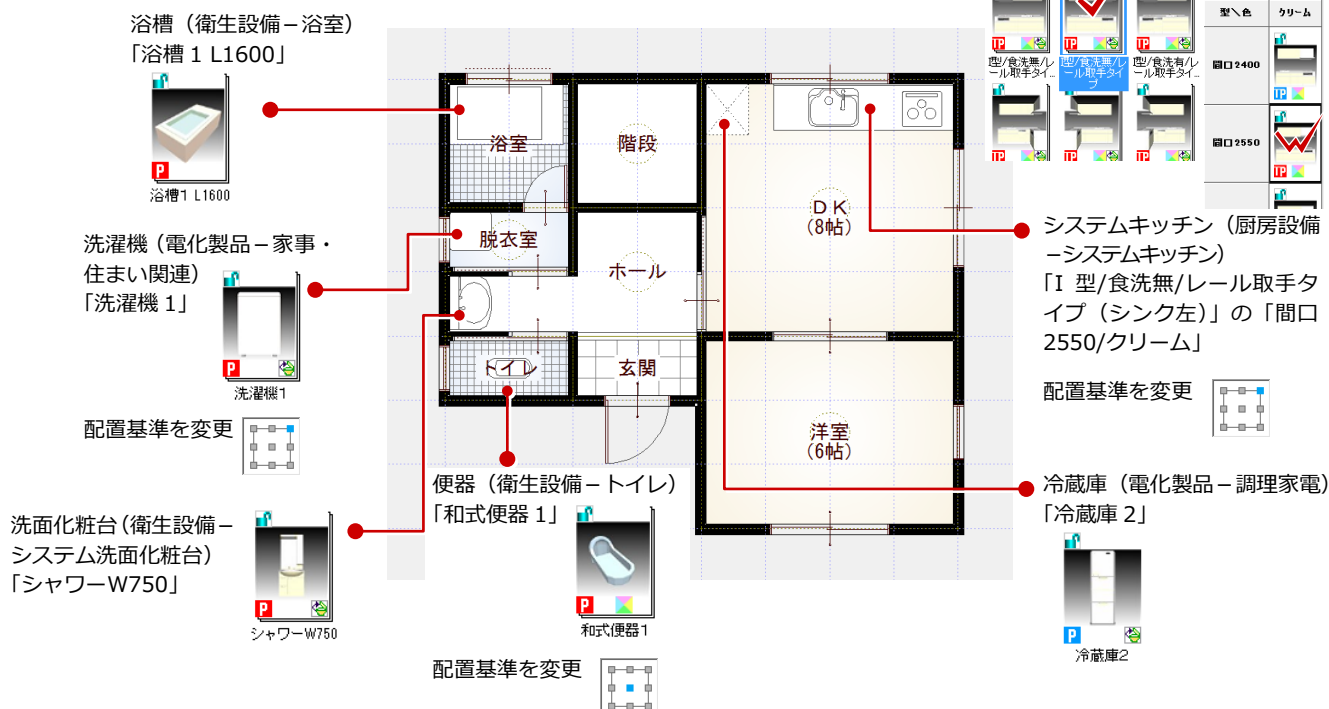


設備機器を入力する

「設備」をクリックして、住設機器を入力します。



⇒ 設備機器の入力については、「リフォームプラン作成編」P.8 参照



1 現況図の作成

階段を入力する

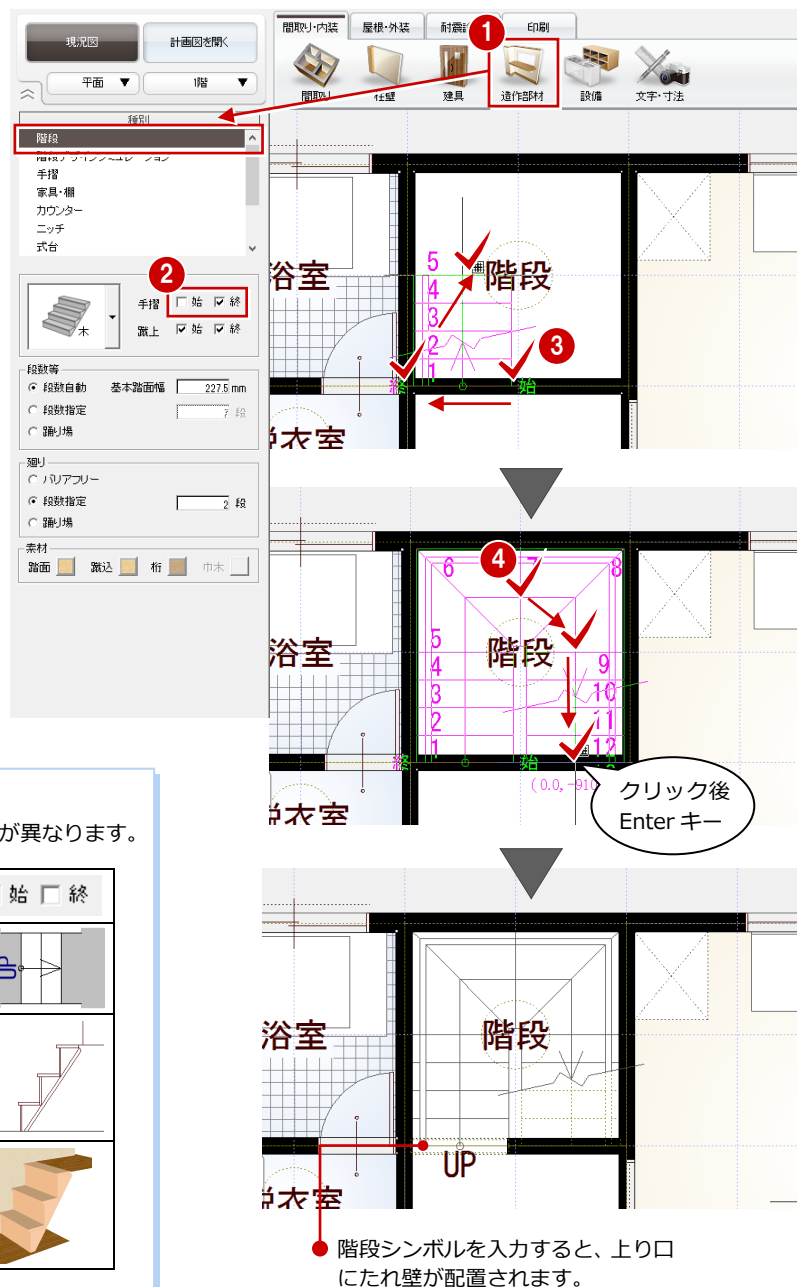
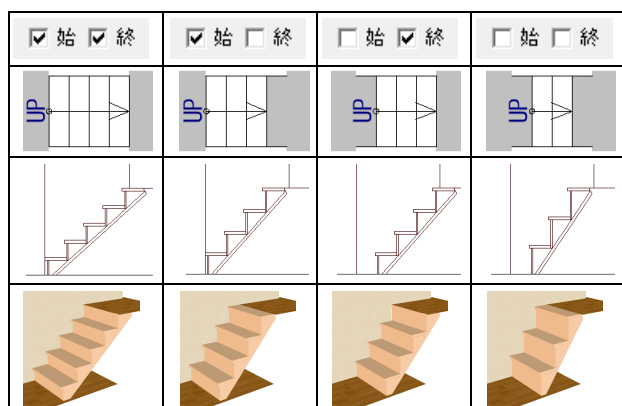
- 「造作部材」をクリックして、「階段」を選びます。
- 手摺の有無を設定します。
ここでは、始点側の手摺を OFF にします。
- 階段の内側、外側、直行階段の終点の順にクリックします。
- 続けて、廻り階段の終点位置（2 か所）、直行階段の終点位置をクリックし、Enter キー（またはポップアップメニューの「OK」）で確定します。

段数自動

「段数等」を「段数自動」に設定している場合は、「階段奥行 ÷ 基本踏面幅」を四捨五入して段数を自動計算しています。

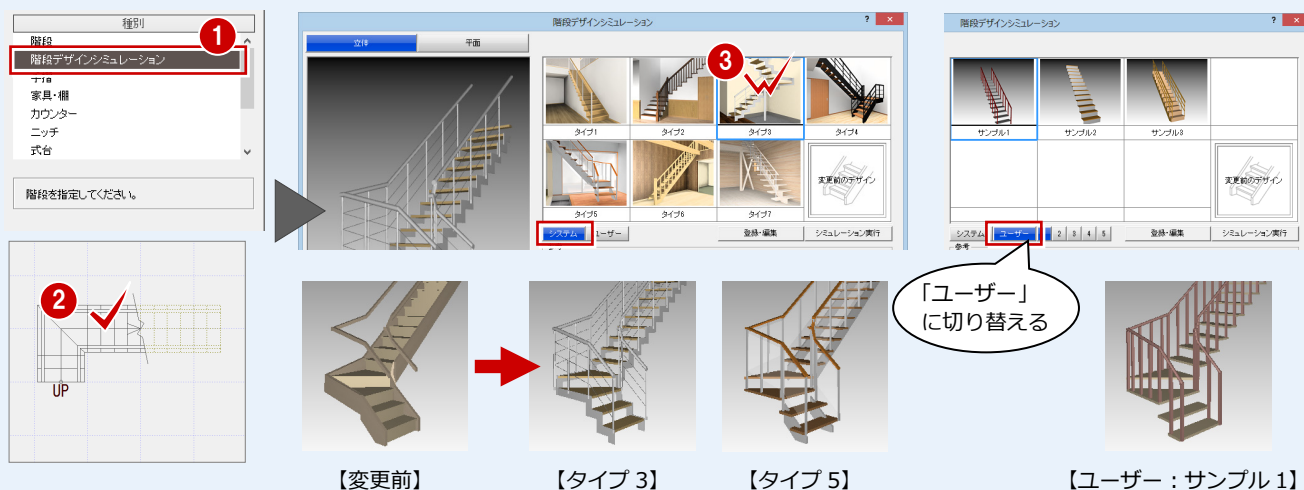
蹴上の設定

「蹴上」の「始」「終」の設定によって、踏面段数の表現が異なります。



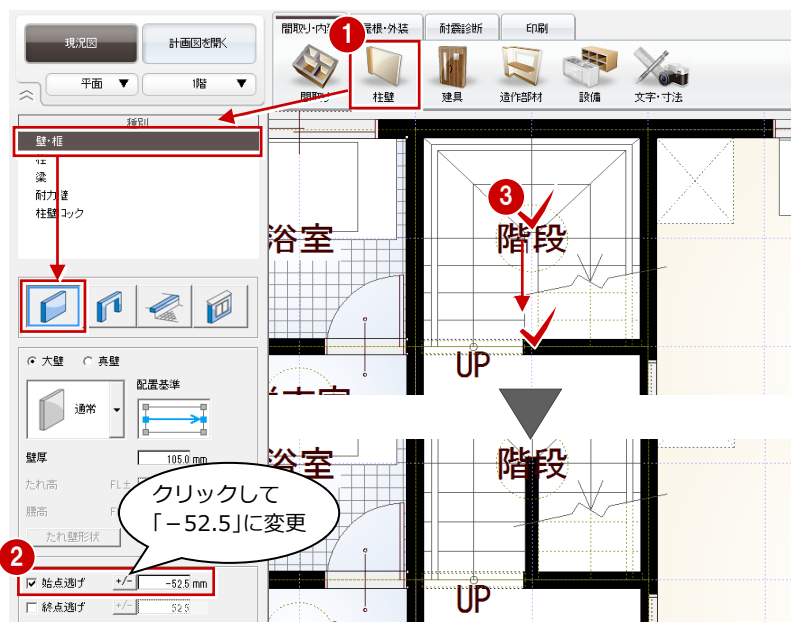
【補足】階段デザインシミュレーションについて

入力した階段を、7つのタイプのデザインにシミュレートし変更することができます。また、よく使用する階段のデザインをユーザー登録しておき、登録したデザインを使ってシミュレートすることもできます。



階段中央の壁を入力する

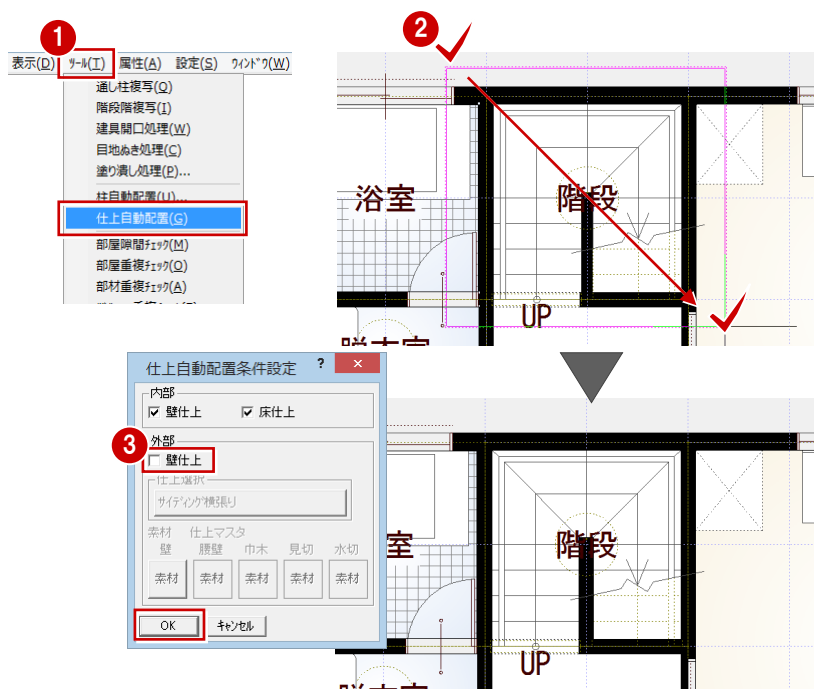
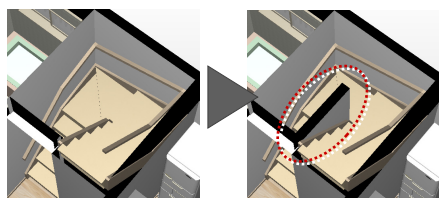
- 1 「柱壁」をクリックして、「壁・框」の「壁」をクリックします。
- 2 「始点逃げ」をONにして、「-52.5」に変更します。
- 3 右図のように、壁の始点、終点をクリックします。



内壁仕上を再配置する

入力した壁に仕上をまわしましょう。

- 1 プルダウンメニューから「ツール」の「仕上自動配置」を選びます。
- 2 階段の部屋が含まれるように範囲を指定します。
- 3 外部の「壁仕上」をOFFにして、「OK」をクリックします。
仕上がきれいに処理されます。



天井仕上を再配置する

開口や壁を入力した場合は、天井仕上も再配置しておきましょう。

- 1 「図面の切り替え」から「天井」を選びます。
※「部品選択」ダイアログが開いた場合は、一旦「×」で閉じます。



- 2 プルダウンメニューから「ツール」の「内部天井仕上自動」を選びます。
- 3 確認画面で「はい」をクリックします。

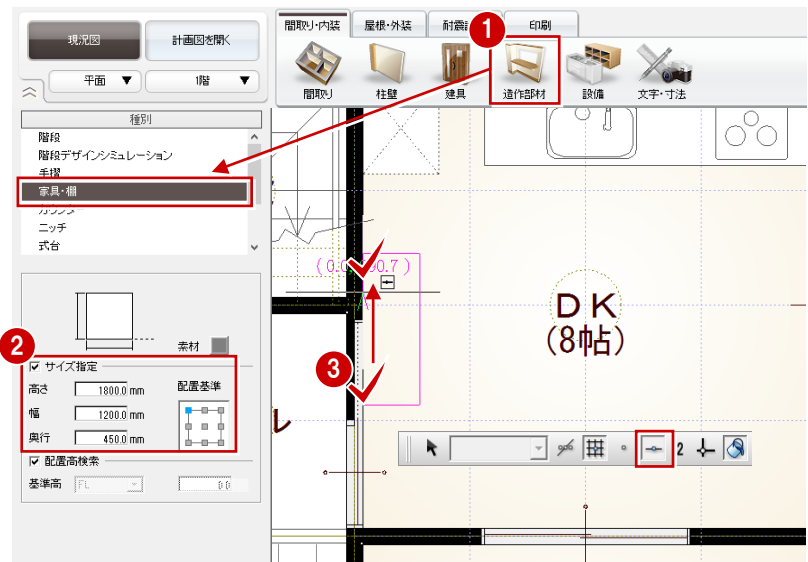


1 現況図の作成

既存造作部材を入力する

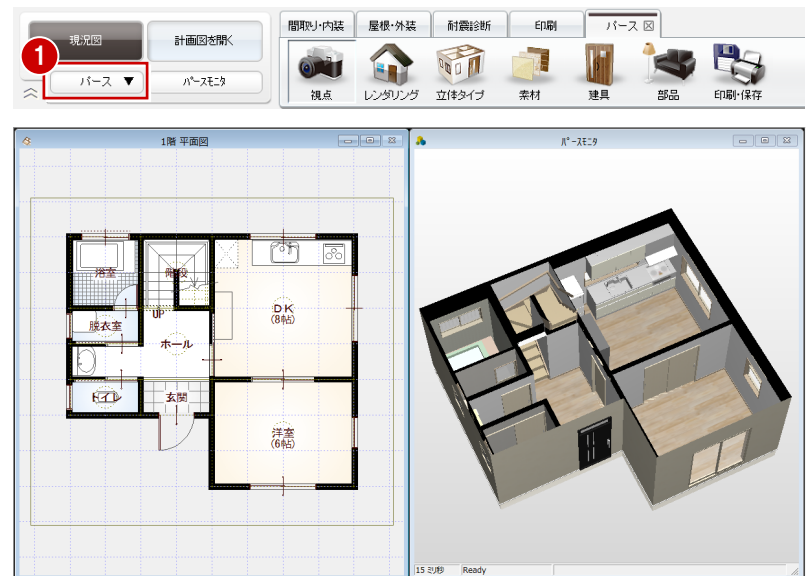
撤去予定の家具など、ボリュームさえ把握できればよい造作部材を簡単に入力してみましょう。

- ① 「造作部材」をクリックして、「家具・棚」を選びます。
- ② ここでは、次のように設定します。
「サイズ指定」：ON
「高さ」：1800
「幅」：1200
「奥行」：450
「配置基準」：左上
- ③ 入力位置と方向をクリックします。
(ここでは「線上ピック」をON)



立体を確認する

- ① 「図面の切り替え」から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- ② カメラや視点を変更して、各部屋を確認しましょう。



データを保存する

- ① 「図面の切り替え」から「平面」を選んで図面に戻ります。
- ② フローティングバーの [保存] (Save) ボタンをクリックします。
- ③ 確認画面で「はい」をクリックします。



2

計画図の作成

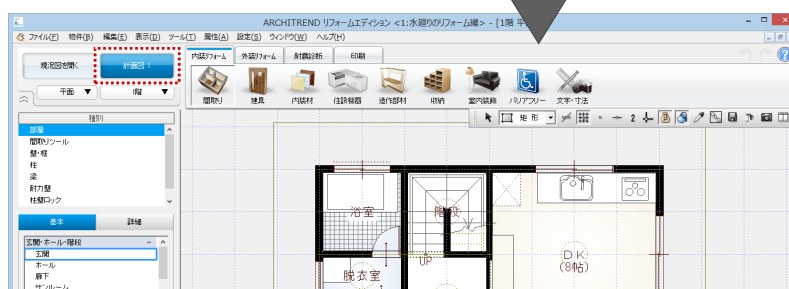
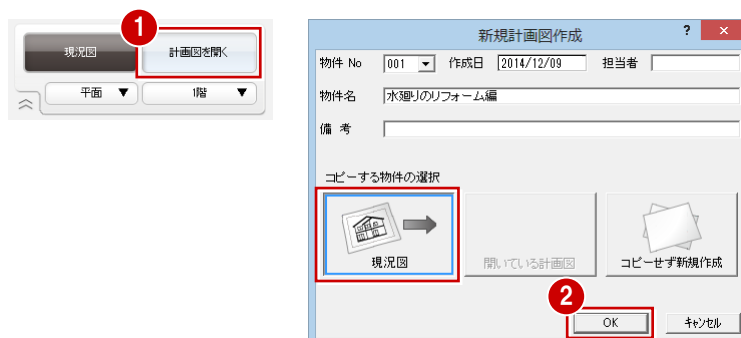
現況図ができれば、それをもとにリフォームの計画図を作成しましょう。

ここでは「基本操作編」「リフォームプラン作成編」の内容に加え、間取りや壁の編集、コンセント・造作棚の入力などを解説します。

2-1 計画図データの作成

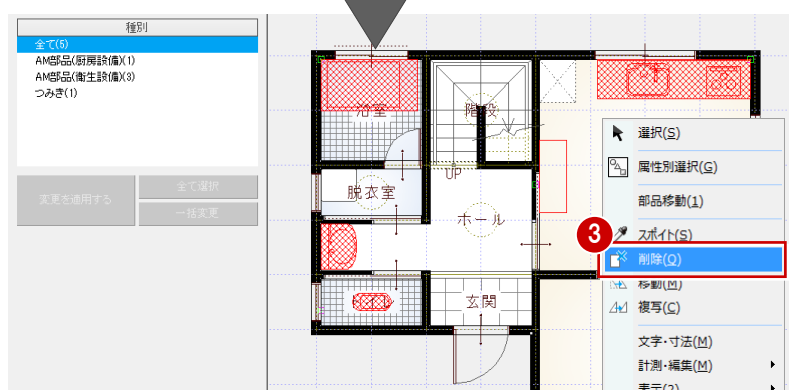
計画図を開く

- 「計画図を開く」をクリックします。
- 「コピーする物件の選択」が「現況図」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。
現況図がコピーされた状態で、計画図 1 が開きます。



不要な設備機器を削除する

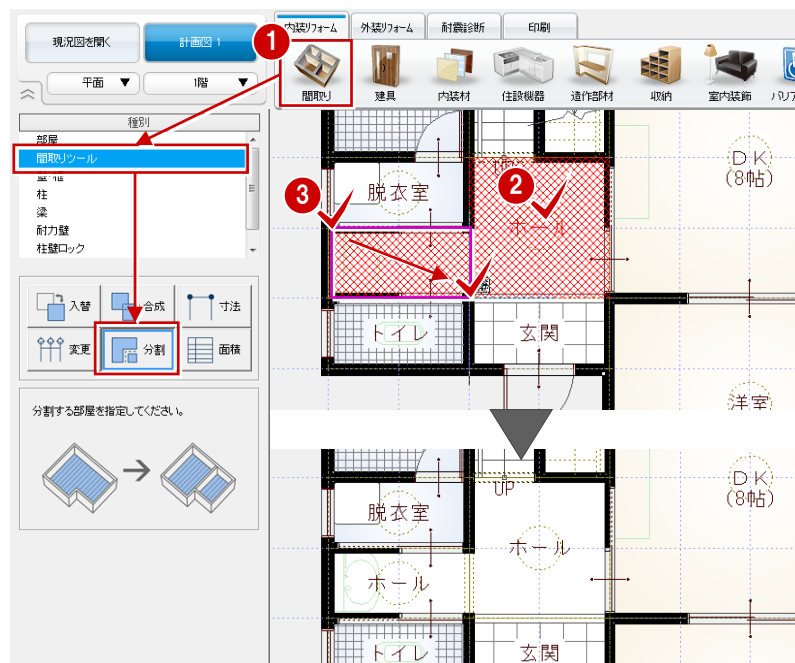
- ポップアップメニューから「属性別選択」を選びます。
- 「つみき」「AM 部品（厨房設備）」「AM 部品（衛生設備）」を選んで、「OK」をクリックします。
冷蔵庫・洗濯機以外の設備機器と既存造作部材が選択された状態になります。
- ポップアップメニューから「削除」を選びます（または Delete キーを押します）。



2-2 間取りの変更

部屋を分割する

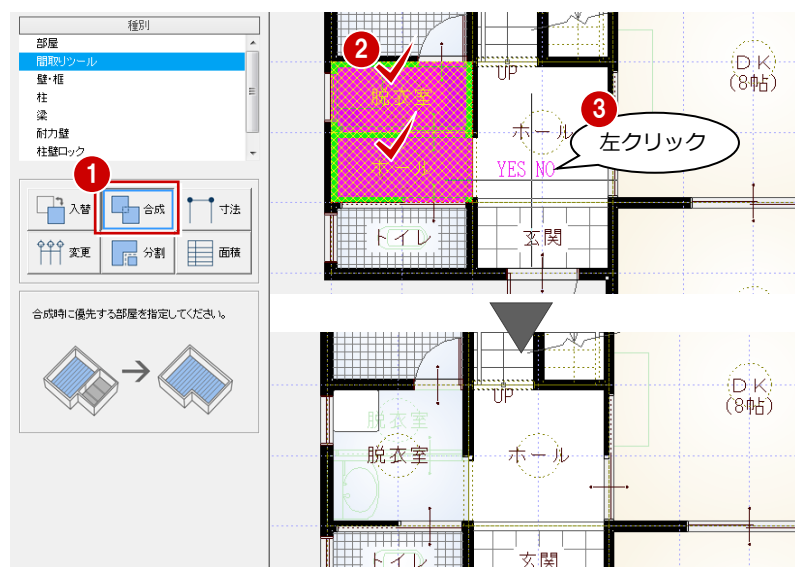
- 1 「間取り」をクリックして、「間取りツール」の「分割」を選びます。
- 2 分割したい部屋（ここでは「ホール」）をクリックします。
- 3 新しい部屋の領域を指定します。
2つの部屋に分割されます。



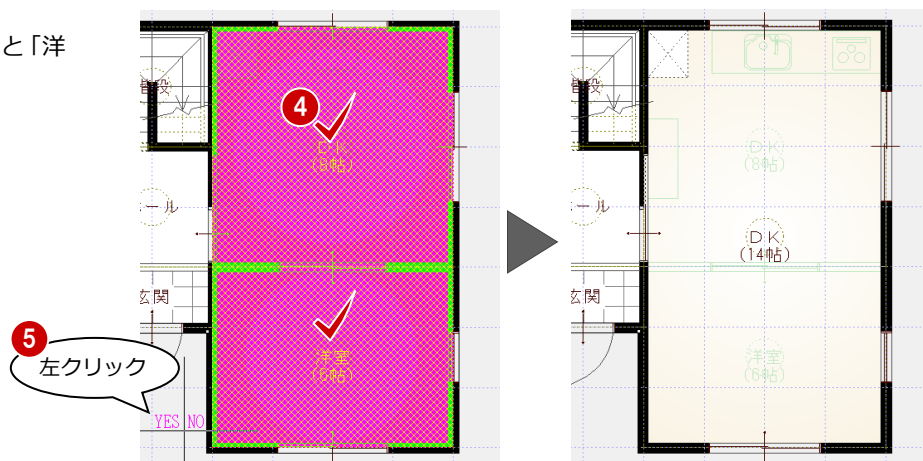
部屋を合成する

- 1 「間取りツール」の「合成」をクリックします。
- 2 合成したい部屋（ここでは「脱衣室」と分割した「ホール」）をクリックします。
このとき、部屋名などのプロパティを残す方の部屋を先に指定します。
- 3 カーソルに「YES/NO」が表示されたら左クリックします。
部屋が合成されます。

※ 左クリックで合成、右クリックでキャンセルになります。



- 4 5 同様に、右図のように「DK」と「洋室」も合成します。

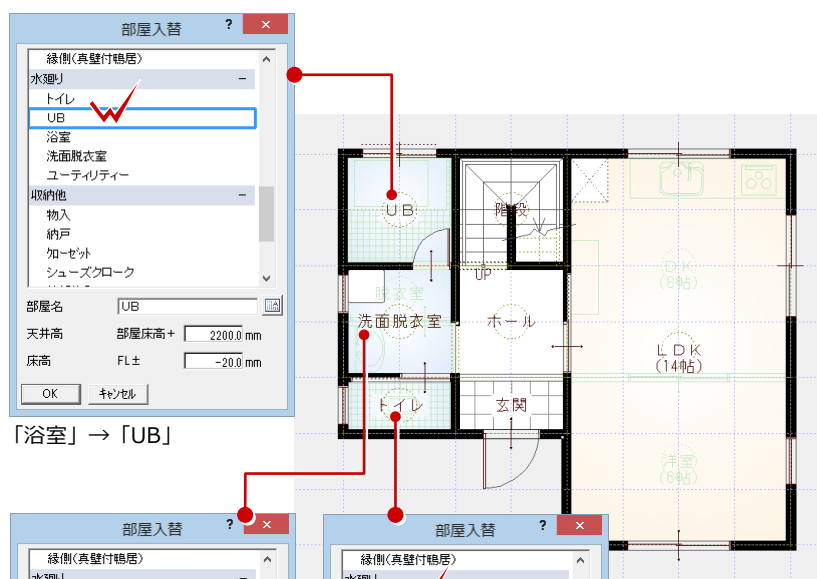


部屋を入れ替える

- 1 「間取りツール」の「入替」をクリックします。
- 2 別の部屋に入れ替えたい部屋（ここでは「DK」）をクリックします。
- 3 変更後の部屋（ここでは「LDK」）を選んで、「OK」をクリックします。
ダブルクリックでも設定できます。

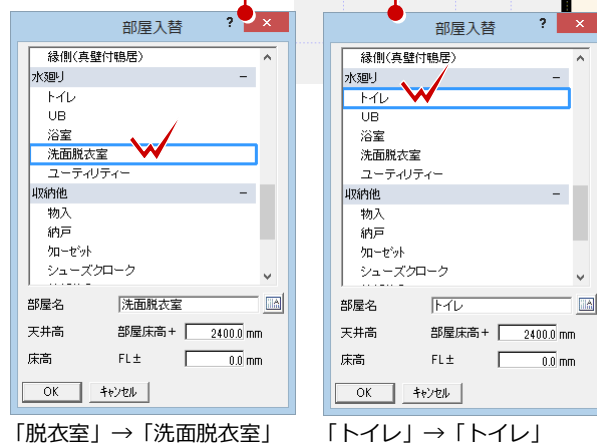


- 4 同様にして、他の部屋も入れ替えます。



部屋の入れ替え

「入替」では、部屋の入れ替えと同時に、床・壁・天井の仕上仕様も変更されます。



「トイレ」→「トイレ」
※ 床仕上がタイルからクッションフロアに変わります。

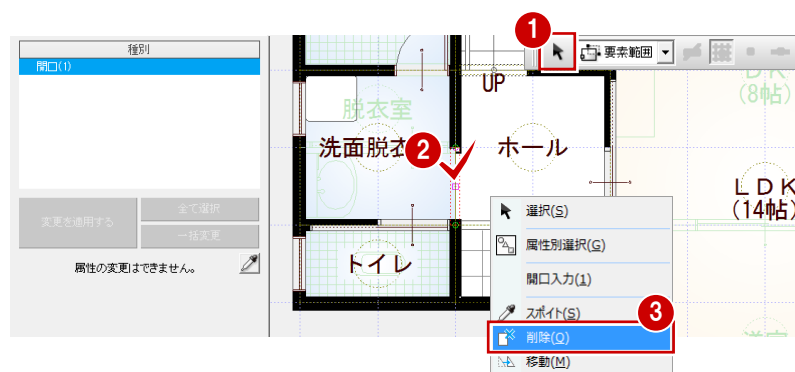
2-3 壁・仕上の編集

壁を編集する

間取りの変更でうまく処理されなかった部分を修正しましょう。

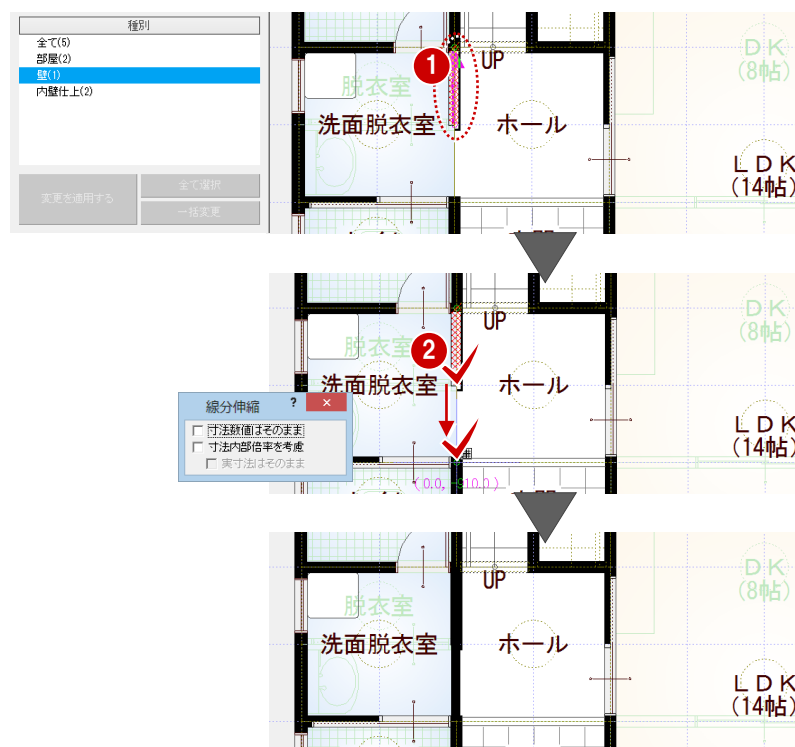
－ 開口を削除する －

- ①②「洗面脱衣室」と「ホール」の間の開口を選択します。
- ③ ポップアップメニューの「削除」（または Delete キー）で削除します。



－ 壁を伸縮する －

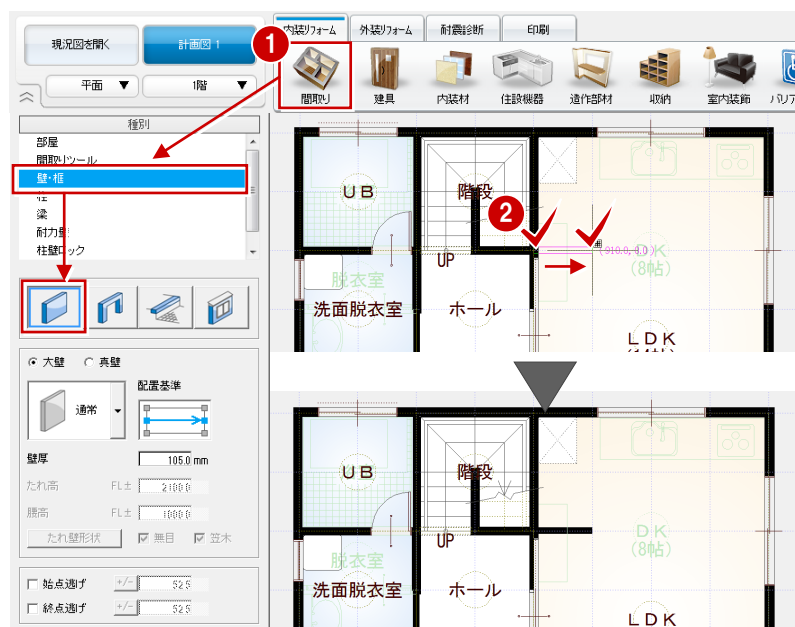
- ①「洗面脱衣室」と「ホール」の間の壁を選択します。
⇒ 複数の部材を選択後、目的の部材に絞込む方法は、「基本操作編」P.10 参照
- ② トラッカー（○）をクリックして、右図の位置まで壁を伸縮します。
⇒ トラッカーの操作については、「基本操作編」P.14 参照



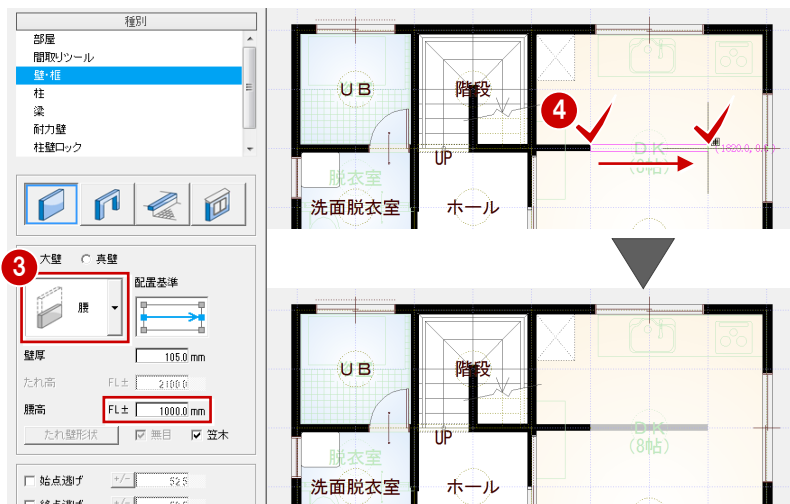
壁・腰壁を入力する

対面キッチン部分に、通常壁と腰壁を入力しましょう。

- ①「間取り」をクリックして、「壁・框」の「壁」を選びます。
- ② 右図のように、壁の始点、終点をクリックします。



- 壁タイプを「腰」に変更します。
(ここでは、腰高は「1000」のまま)
- 右図のように、腰壁の始点、終点をクリックします。

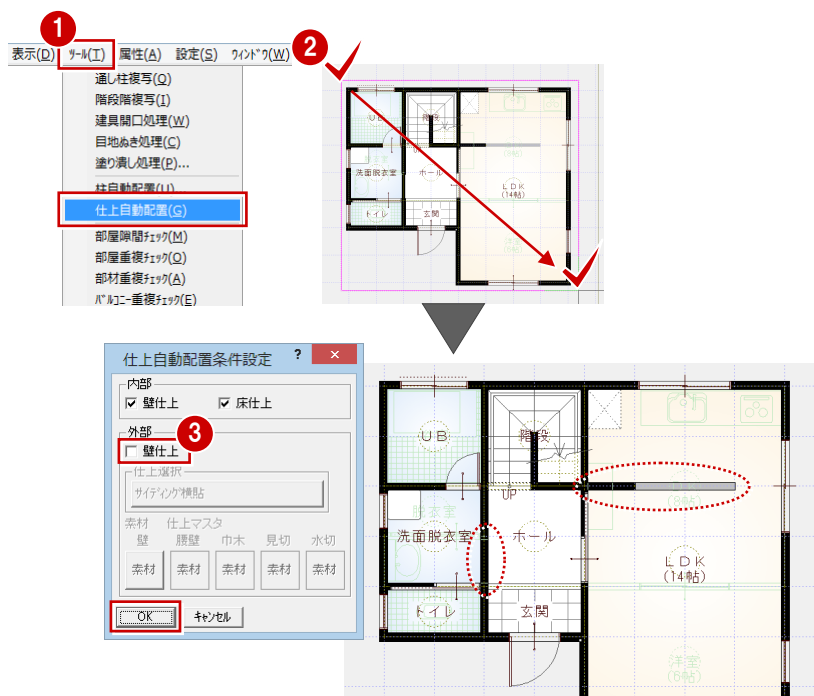


仕上を再配置する

壁の編集や入力を行った部分に、仕上をまわしましょう。

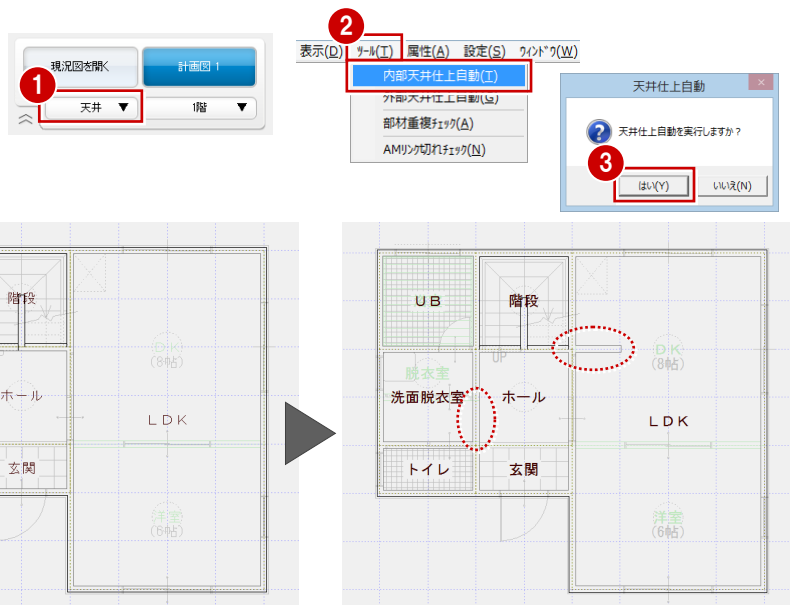
－ 内壁仕上を再配置する －

- プルダウンメニューから「ツール」の「仕上自動配置」を選びます。
- 間取り全体が含まれるように範囲を指定します。
- 外部の「壁仕上」をOFFにして、「OK」をクリックします。
仕上がきれいに処理されます。



－ 天井仕上を再配置する －

- 「図面の切り替え」から「天井」を選びます。
- プルダウンメニューから「ツール」の「内部天井仕上自動」を選びます。
- 確認画面で「はい」をクリックします。



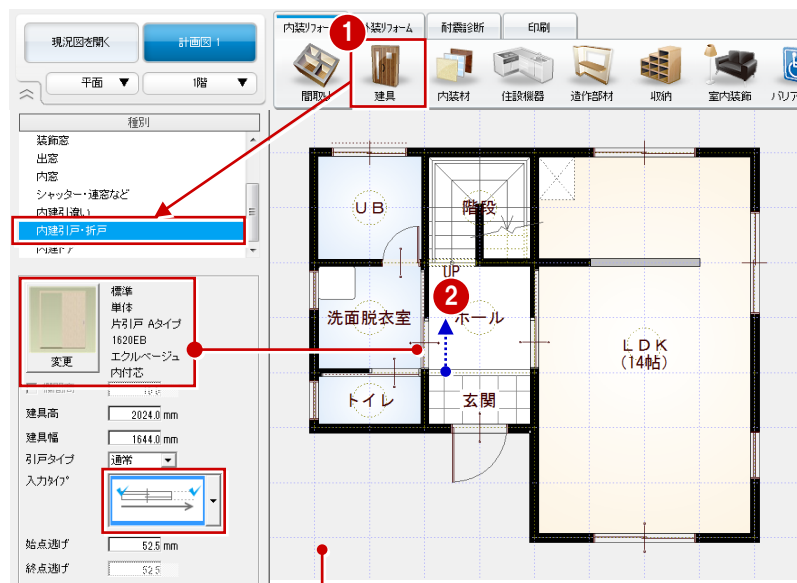
2-4 内装の変更

建具を入力する

洗面脱衣室に建具を追加しましょう。

- 「建具」をクリックして、「内建引戸・折戸」を選びます。
- 右図のように、洗面脱衣室に片引戸を入力します。

「片引戸 A タイプ」
入力タイプ：始点寄せ
取付高：部屋床高参照



ここからの解説図は、バック図面を非表示にしています。

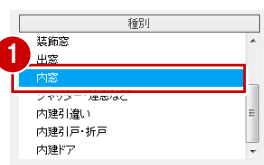
⇒ バック図面については、「リフォームプラン作成編」P.12 参照

内窓を入力する

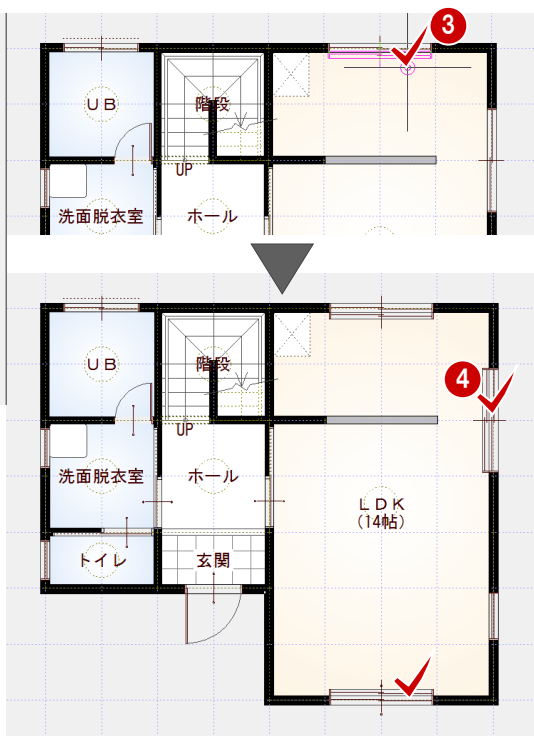
LDK の建具に、内窓（2 重窓）を配置してみましょう。

- 「内窓」をクリックします。
- 「内窓 W900_H500」をダブルクリックして選択します。

※ 取り付ける建具によって、配置される内窓のサイズは自動的に変わります。



- 内窓をつきたい建具（ここでは、LDK の 2 枚引違窓）をクリックします。
クリックした建具と同じ幅・高さで内側に入力されます。
- 同様にして、他の建具にも内窓を入力します（2 か所）。



設備機器を入力する

「住設機器」をクリックして、下図のように入力します。

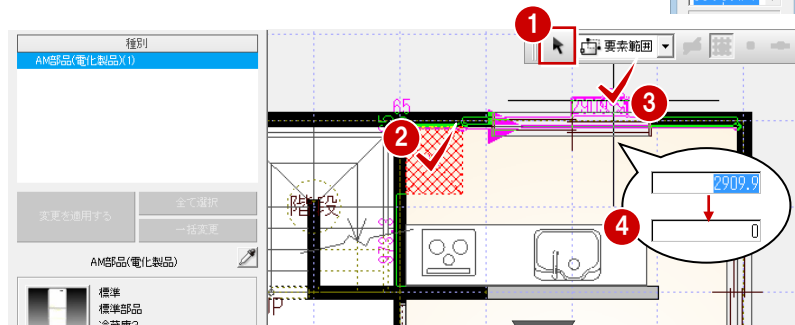
⇒ 設備機器の入力については、「リフォームプラン作成編」P.8 参照



設備機器を移動する

寸法エディットを使って、冷蔵庫を移動しましょう。

- ①② 冷蔵庫を選択します。
- ③ 右図の寸法値をクリックします。
- ④ 「0」を入力して Enter キーを押します。

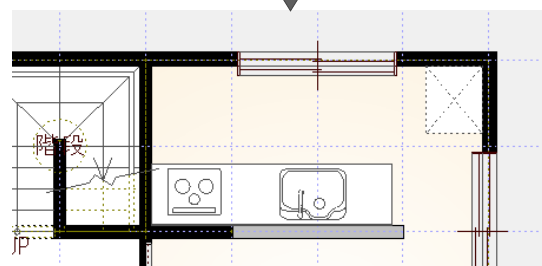
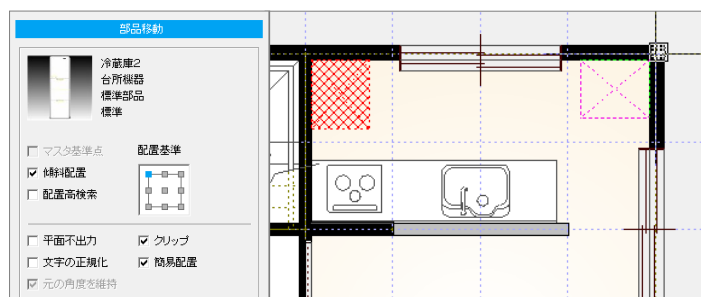


部品移動

設備機器などの部品を選択してポップアップメニューの「部品移動」を使用する方法もあります。

配置時と同じように、簡易配置や部品の回転が可能です。

なお、部品を選択してトラッカー（□）をクリックしても部品移動の状態になります。

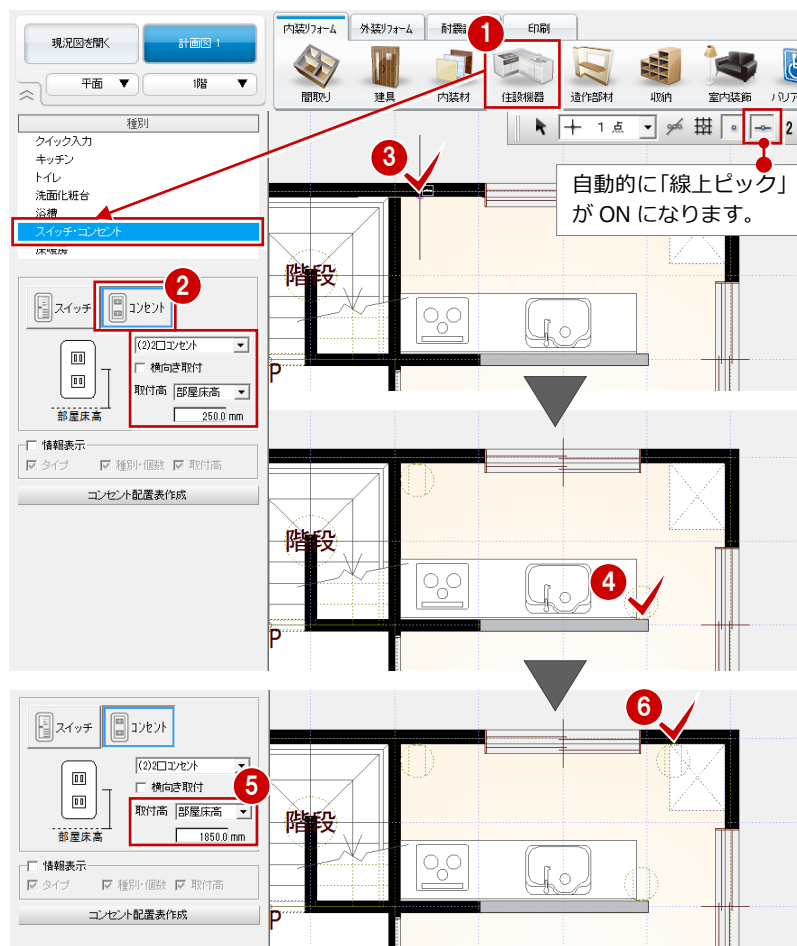


2 計画図の作成

コンセントを入力する

スイッチやコンセントを入力すると、パースや展開図で位置を確認できます。

- ① 「住設機器」をクリックして、「スイッチ・コンセント」を選びます。
- ② 「コンセント」をクリックして、コンセントのタイプや取付高を設定します。
ここでは、次のように設定します。
「(2) 2口コンセント」
「取付高」: 部屋床高 + 「250」
- ③ コンセントの配置位置をクリックします。
- ④ 同様にして、もう 1 か所配置します。

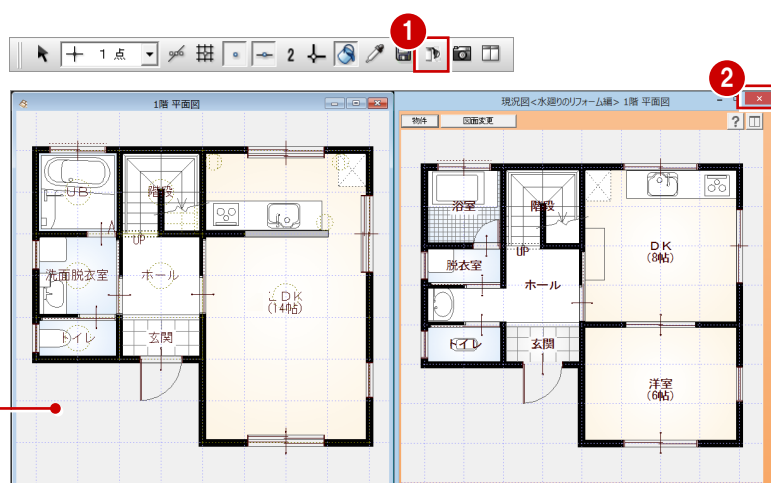


- ⑤⑥ 冷蔵庫付近には、取付高を変更して入力しましょう。
「取付高」: 部屋床高 + 「1850」

現況図と比較する

- ① フローティングバーの  をクリックします。
現況図が並べて表示されます。
- ② 確認が終了したら、「現況図」ウィンドウを閉じます。

現況図・計画図のどちらで拡大表示しても、他方が同様に表示されます。



立体を確認する

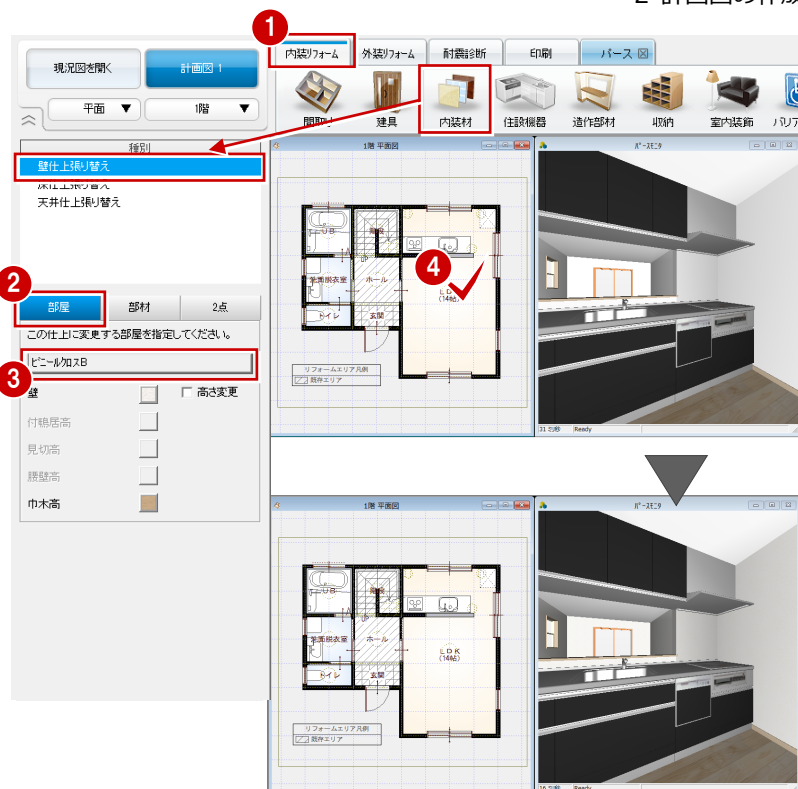
- ① 「図面の切り替え」から「パース」を選んでパースモニタを開きます。
- ② カメラや視点を変更して、各部屋を確認しましょう。



内壁仕上を変更する

－ 部屋内すべての内壁仕上を変更する －

- ① 「内装リフォーム」タブの「内装材」をクリックして、「壁仕上張り替え」を選びます。
- ② 対象が「部屋」であることを確認します。
- ③ 変更後のクロスを選びます。
ここでは、「No.36：ビニールクロス B」を選択します。
- ④ 仕上を変更したい部屋（ここでは「LDK」）をクリックします。
部屋内のクロスが変わります。



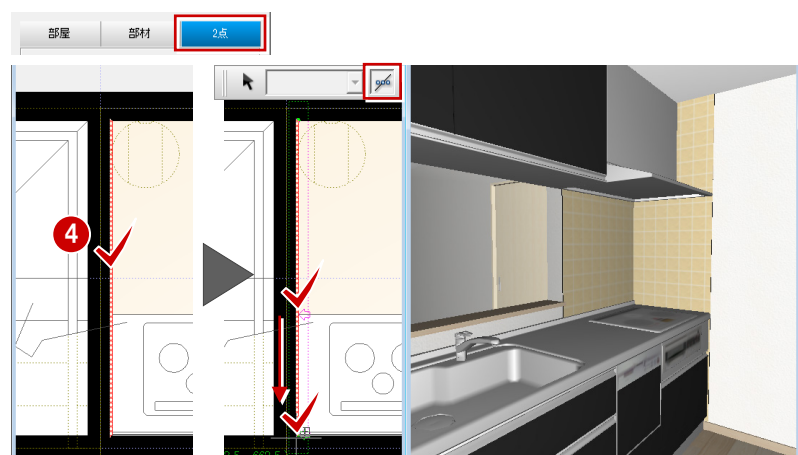
－ 内壁仕上を部分的に変更する －

システムキッチンのコンロ口の部分をキッチン壁に変更しましょう。

- ① 対象を「部材」に変更します。
- ② 変更後のクロスを選びます。
ここでは、「No.16：キッチン壁」を選び、目地と素材を右図のように変更します。
- ③ 変更する仕上をクリックします。



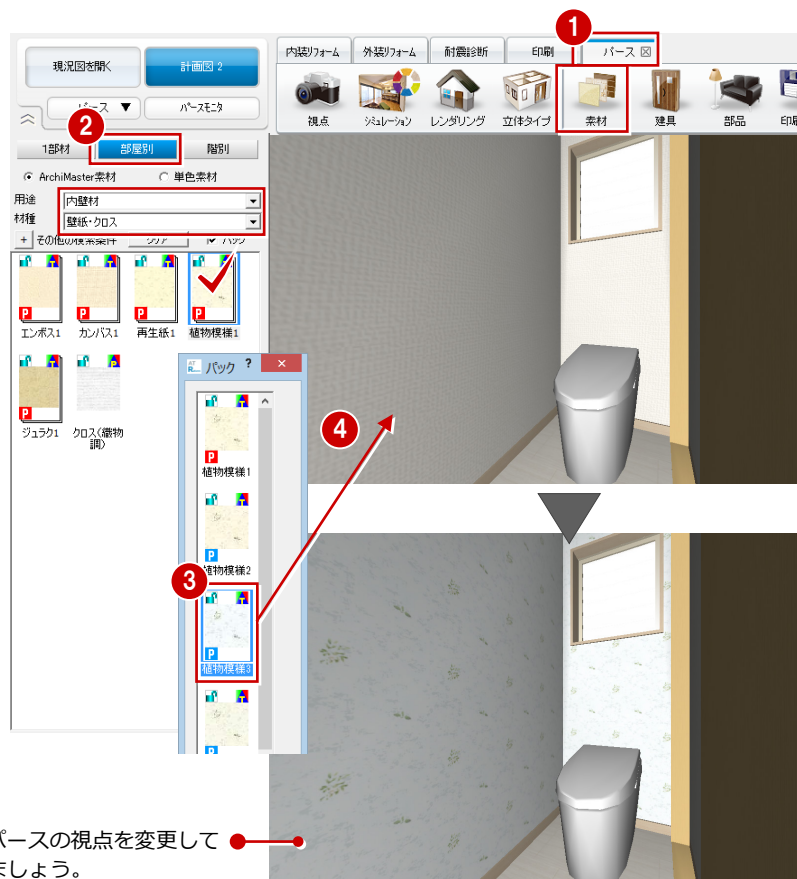
- ④ 対象を「2点」に変え、システムキッチン横の壁仕上を分割します。
（「端点・交点ピック」をON）
- ⇒ 詳しい操作については、「リフォームプラン作成編」P.13 参照



パースから素材を変更する

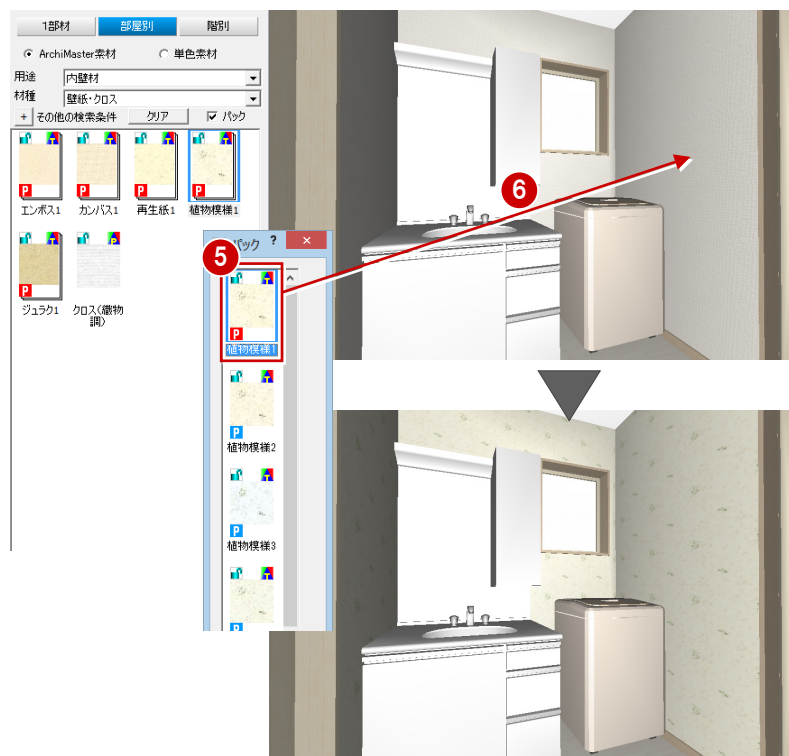
－ トイレのクロスを変更する －

- ① 「パース」タブの「素材」をクリックします。
- ② 対象を「部屋別」に変更します。
⇒ 対象による違いについては、「リフォームプラン作成編」P.14 参照
- ③ 変更後の素材を選びます。
「用途」：内壁材
「材種」：壁紙・クロス
「品名」：植物模様 1
「パック」：植物模様 3
- ④ パースモニタの内壁へ、素材をドラッグ & ドロップします。
クロスの素材が変わります。



－ 洗面脱衣室のクロスを変更する －

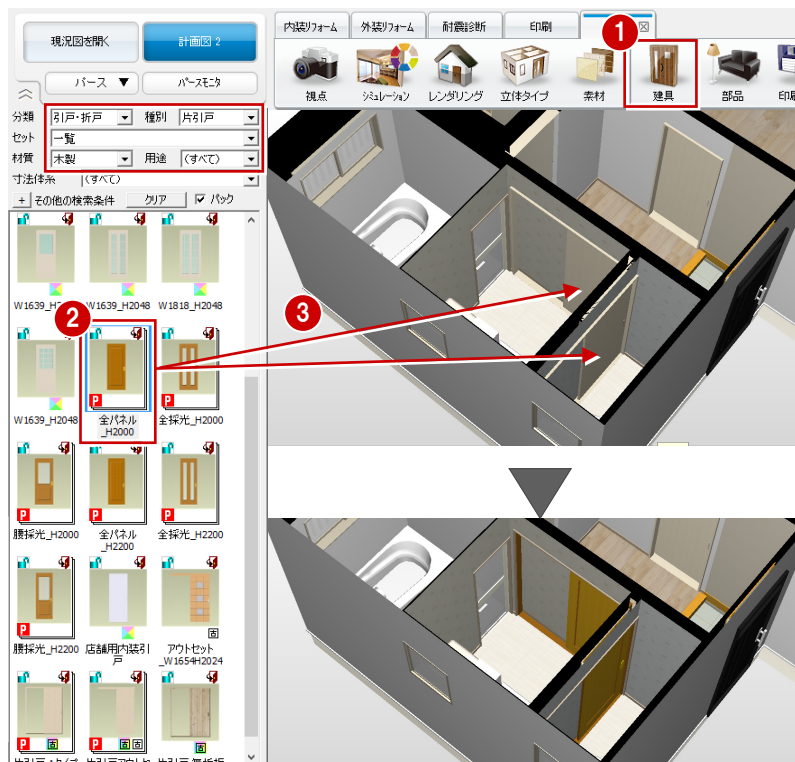
- ⑤⑥ 同様にして、洗面脱衣室のクロスも変更しましょう。
「用途」：内壁材
「材種」：壁紙・クロス
「品名」：植物模様 1
「パック」：植物模様 1



パースから建具を変更する

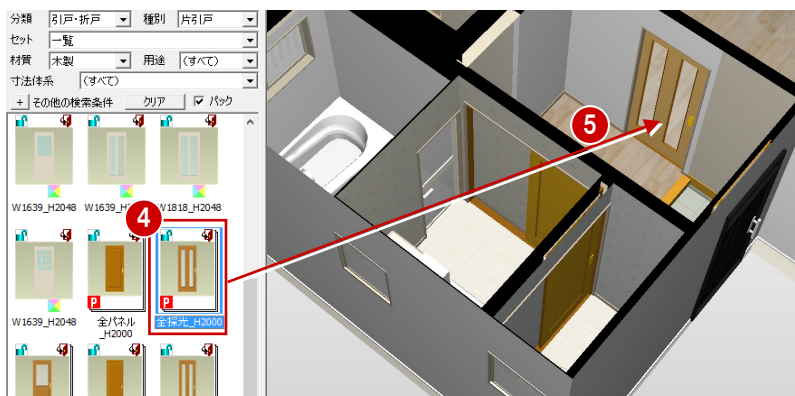
－ トイレ・洗面脱衣室の建具を変更する －

- ① 「パース」タブの「建具」をクリックします。
- ② 変更後の建具を選びます。
「分類」：引戸・折戸
「種別」：片引戸
「材質」：木製
「品名」：全パネル_H2000
- ③ パースモニタの建具上へドラッグ＆ドロップします。
建具が入れ替わります。



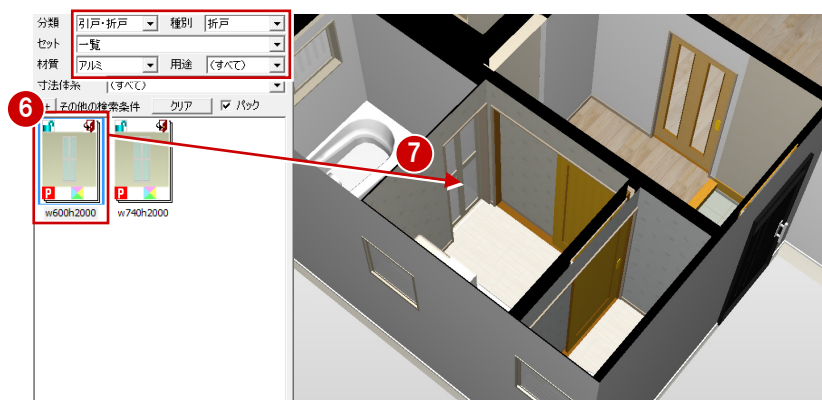
－ LDK の建具を変更する －

- ④⑤ 同様にして、LDK の建具も変更しましょう。
「分類」：引戸・折戸
「種別」：片引戸
「材質」：木製
「品名」：全採光_H2000



－ UB の建具を変更する －

- ⑥⑦ UB の建具は、片開ドアから折戸に変更してみましょう。
「分類」：引戸・折戸
「種別」：折戸
「材質」：アルミ
「品名」：w600h2000



造作棚を入力する

① 「内装リフォーム」タブの「収納」をクリックして、「造作棚」を選びます。

② 「サイズ指定」をクリックします。

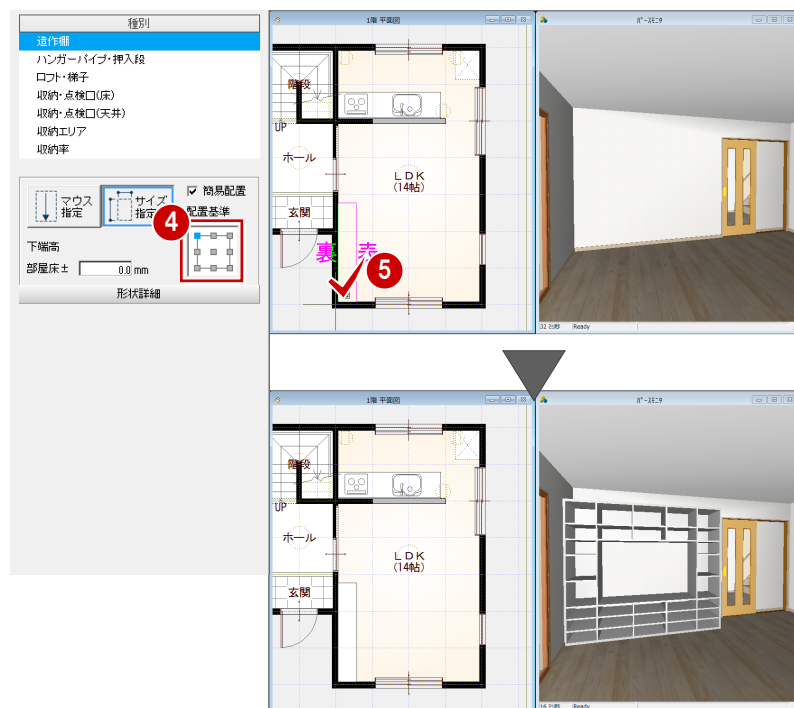
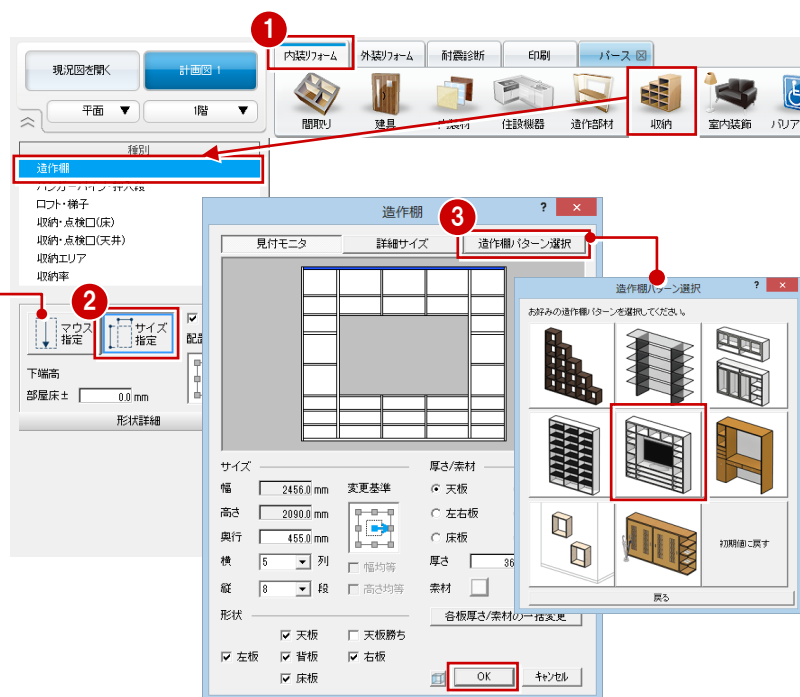
「マウス指定」の場合は、棚の範囲を指定後に詳細を設定します。
入力した範囲が棚のサイズになります。

③ 造作棚のサイズや段数、素材などを設定して、「OK」をクリックします。

ここでは、「造作棚パターン選択」をクリックして、中央の形状を使用します。

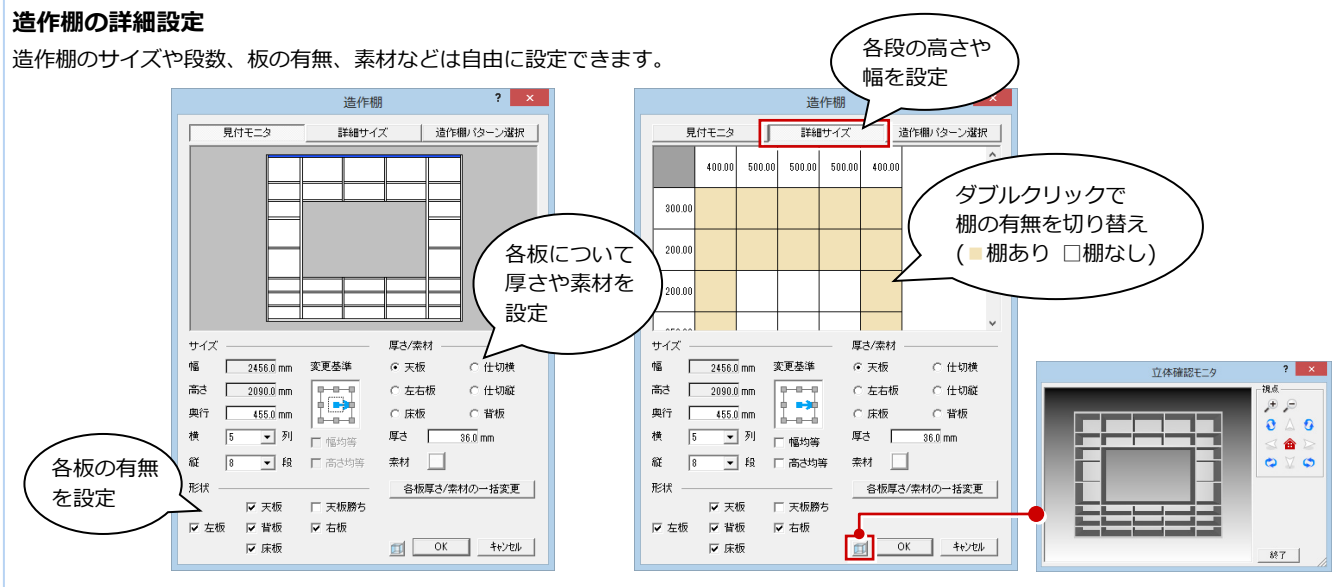
④ 配置基準を「左上」に変更します。

⑤ 造作棚の配置位置をクリックします。



造作棚の詳細設定

造作棚のサイズや段数、板の有無、素材などは自由に設定できます。



家具を入力する

- ダイニングセットを入力する -

- ① 「室内装飾」をクリックして、「家具」を選びます。
- ② ここでは、次の部品を選びます。
「分類」：家具
「種別」：ダイニング家具
「品名」：ダイニングテーブルセット 2
「パック」：ダイニングセット G



- ③ 「簡易配置」を OFF にします。
任意の位置に入力できるようになります。
- ④ マウスのホイールボタン（または無変換キー）で部品の向きを回転して、右図のように配置します。



部品の回転

配置後に部品を回転したい場合は、トラッカーを使用します。

⇒ 詳しい操作については、「基本操作編」P.15 参照

- ソファセットを入力する -

- ⑤～⑦ 同様に、ソファセットも配置しましょう。
「分類」：家具
「種別」：リビング（椅子・テーブル）
「品名」：ソファセット E
「パック」：ソファセット C



2 計画図の作成

照明器具を入力する

- 1 「照明」をクリックします。
天井伏図が開きます。

ダイニングテーブル上にペンダントを配置するために、平面図のバック表示を更新しましょう。

- 2 プルダウンメニューから「ファイル」の「バック図面・バックデータ」の「バック図面表示」を選びます。
- 3 「バック図面 1」が「1階 平面図」であることを確認して、「OK」をクリックします。

- 4 「照明」をクリックします。
- 5 ここでは、次の照明器具を選択します。
「グループ」：ペンダント
「品名」：ペンダントランプ 30
「バック」：ペンダント 6

- 6 右図のように、ダイニングテーブル上に配置します。

- 7～9 同様にして、右図のようにダウンライトも配置しましょう（9 か所）。
「グループ」：ダウンライト
「品名」：ポイントライト

※「部品選択」ダイアログが開いた場合は、一旦「×」で閉じます。

バック図面表示設定

バック図面/表示	名称	表示
バック図面1	1階 平面図	○
バック図面2	図面を指定してください	-
バック図面3	現況図 1階 天井伏図	○

その他バックデータ表示

バックデータ	表示
バックデータ	○

部品選択

セット一覧

グループ: ペンダント メーカー: (すべて)

シリーズ: (すべて)

色名称: (すべて)

ユーザー: (すべて) 基本検索... 詳細検索... 等級検索... テーブル

表示切替

該当品: 1. 調光器1, 2. スクエアペンダント, 3. キッチンペンダント, 4. LEDペンダント, 5. シャンデリア1, 6. ペンダントランプ 30

7

標準 標準部品 照明

変更

☒ 同種別は置換え 配置基準

☒ マスク基準点 傾斜配置

☒ 傾斜配置 配置高検索

基準高: 天井面 0.0

☐ 線種指定 ? ☒ クリップ

サイズ

大きさ 倍率

横: 149.0 mm 1.0000 倍

縦: 149.0 mm 1.0000 倍

高さ: 33.4 mm 1.0000 倍

8

部品

グループ: ダウンライト メーカー: 標準

シリーズ: 標準部品

色名称: (すべて)

ユーザー: (すべて) 基本検索... 詳細検索... 等級検索...

表示切替

該当品: 1. ダウンライト2, 2. ポイントライト, 3. スポットライト 15度, 4. 和ダウンライト2, 5. LEDダウンライト 200型, 6. ダウンライト

9

標準 標準部品 照明

変更

☒ 同種別は置換え 配置基準

☒ マスク基準点 傾斜配置

☒ 傾斜配置 配置高検索

基準高: 天井面 0.0

☐ 線種指定 ? ☒ クリップ

サイズ

大きさ 倍率

横: 160.0 mm 1.0000 倍

縦: 160.0 mm 1.0000 倍

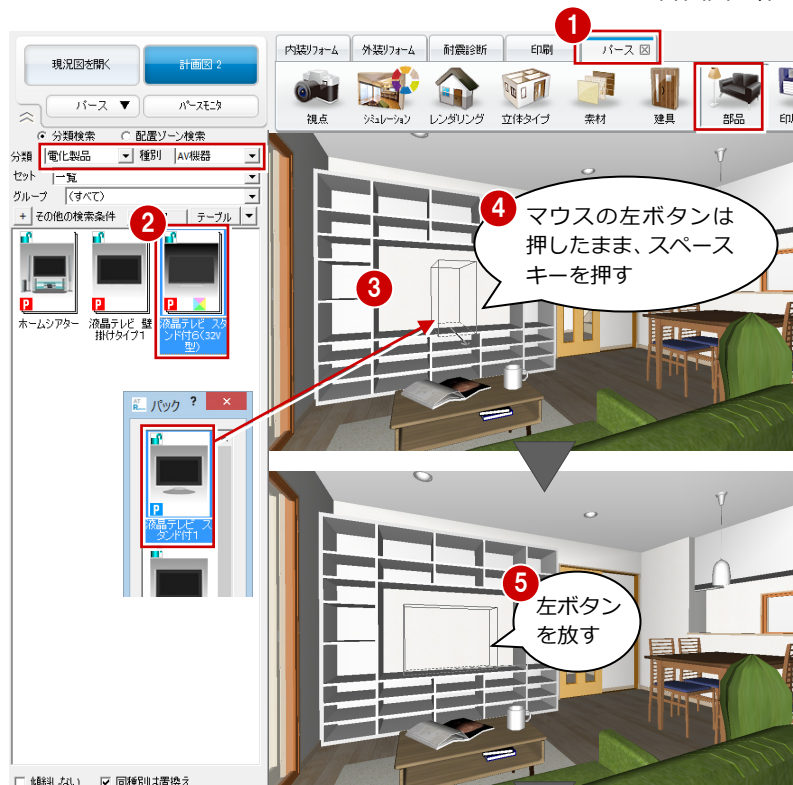
高さ: 33.4 mm 1.0000 倍

リフォームエリア凡例

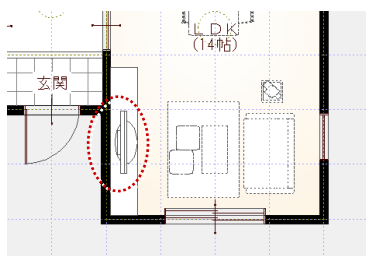
☒ 既存エリア

パースから部品を入力する

- 1 「パース」タブの「部品」をクリックします。
- 2 部品を選びます。
「分類」：電化製品
「種別」：AV 機器
「品名」：液晶テレビ スタンド付 6 (32V 型)
「パック」：液晶テレビ スタンド付 1
- 3 パースモニタの造作棚中央ヘドラッグします（マウスの左ボタンは押したまま）。
- 4 スペースキーを押して部品を回転します。
- 5 右図のような向きになったら、マウスの左ボタンを放します。
テレビが棚板の上に配置されます。

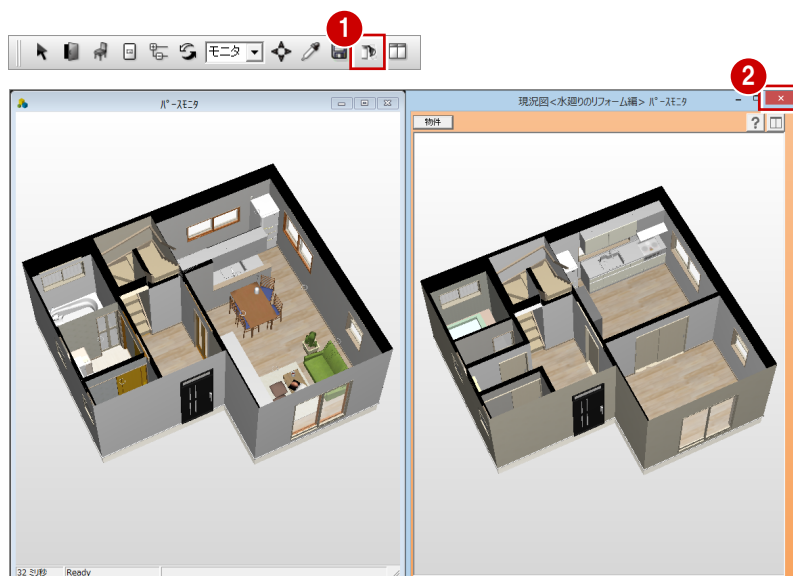


※ 平面図にも描画されます。



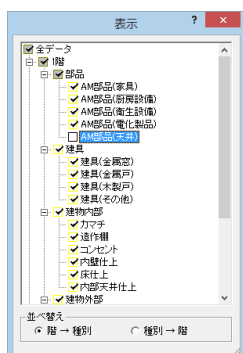
変更前と比較する

- 1 フローティングバーの  をクリックします。
現況図のパースが並べて表示されます。
- 2 確認が終了したら、「現況図」ウィンドウを閉じます。



照明器具を非表示にするには

鳥瞰でパースを確認したときに照明部品が不要な場合は、フローティングバーの  をクリックして、「AM 部品 (天井)」を OFF にします。



2 計画図の作成

リフォームエリアを設定する

既存エリア・増改築エリアをわかりやすく図面に表示しましょう。

- ① 「内装リフォーム」タブの「間取り」をクリックして、「リフォームエリア」を選びます。
- ② 「改築」をクリックします。
- ③ リフォーム対象の部屋を指定します。
ここでは、右図のように部屋をクリックします（4か所）。

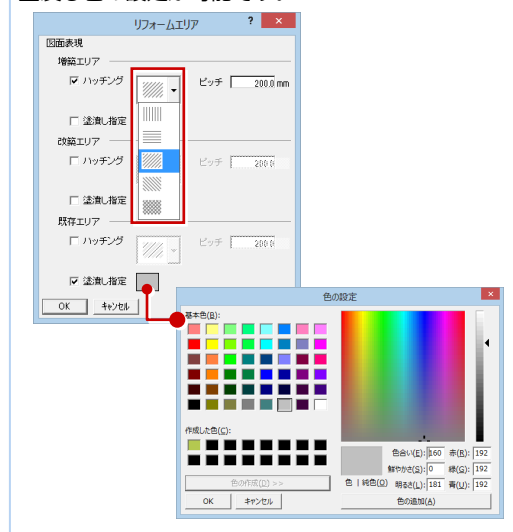
「範囲指定」の場合

手順③のときに「範囲指定」にすると、指定した範囲内に完全に含まれている部屋が選択されます。

- ④ 「確定」をクリックします。
「表現設定」の内容で、部屋が塗り分けられます。

表現設定

エリアごとにハッチングまたは塗潰し表示にすることを設定できます。ハッチングのタイプやピッチ、塗潰し色の設定が可能です。



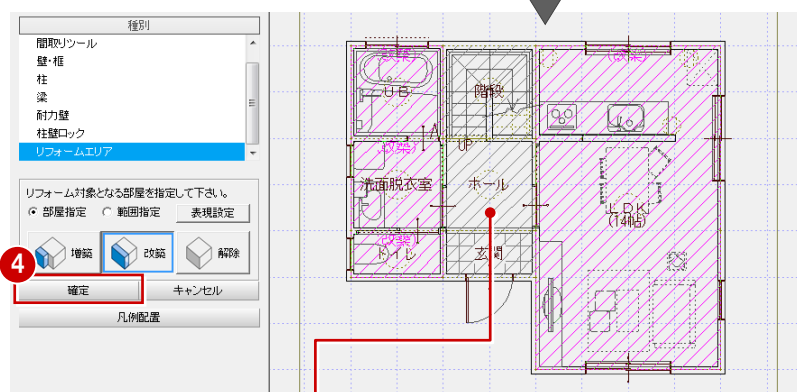
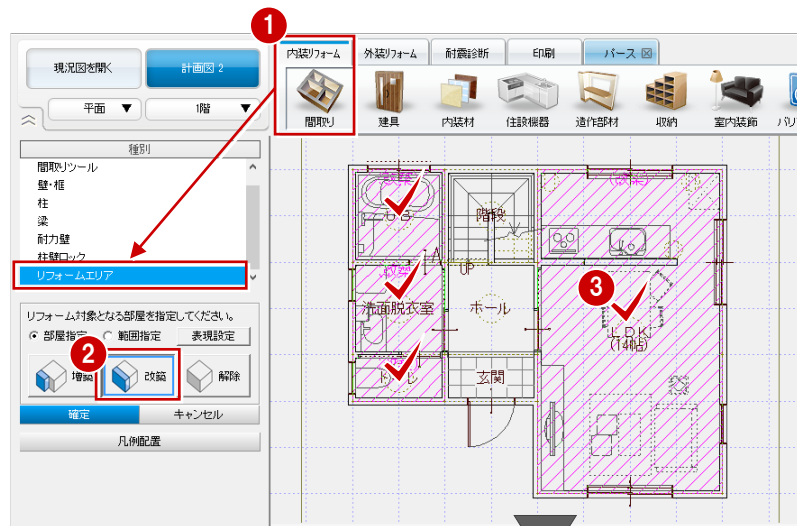
- ⑤ 「凡例配置」をクリックします。
- ⑥ 凡例の配置位置をクリックします。

データを保存する

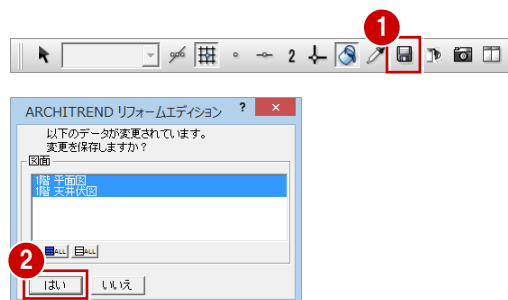
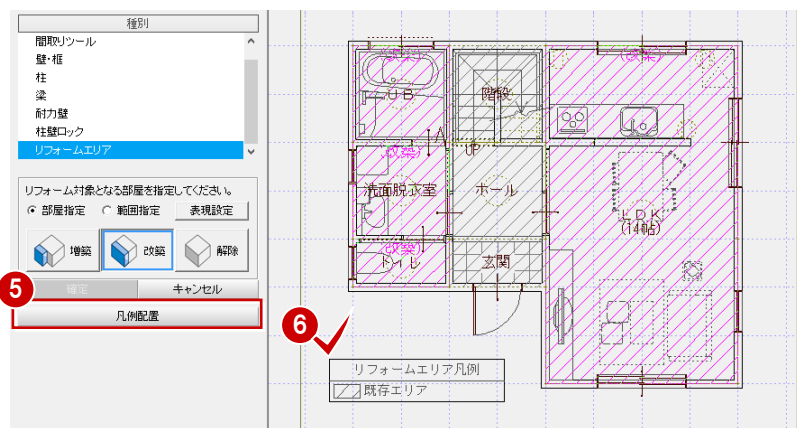
- ① フローティングバーの をクリックします。
- ② 確認画面で「はい」をクリックします。

図面化処理を実行する

壁や仕上の編集などで、壁の塗り潰しが一部欠けたり不要な線が表示される場合があります。このようなときは、プルダウンメニューから「ツール」の「図面化処理」を実行してください。CAD画面で右ダブルクリックでも実行できます。



- ⑦ 「表現設定」で、既存エリアのみハッチング表示するようになっているため、指定した部屋以外が斜線表示になります。



3

パースの作成

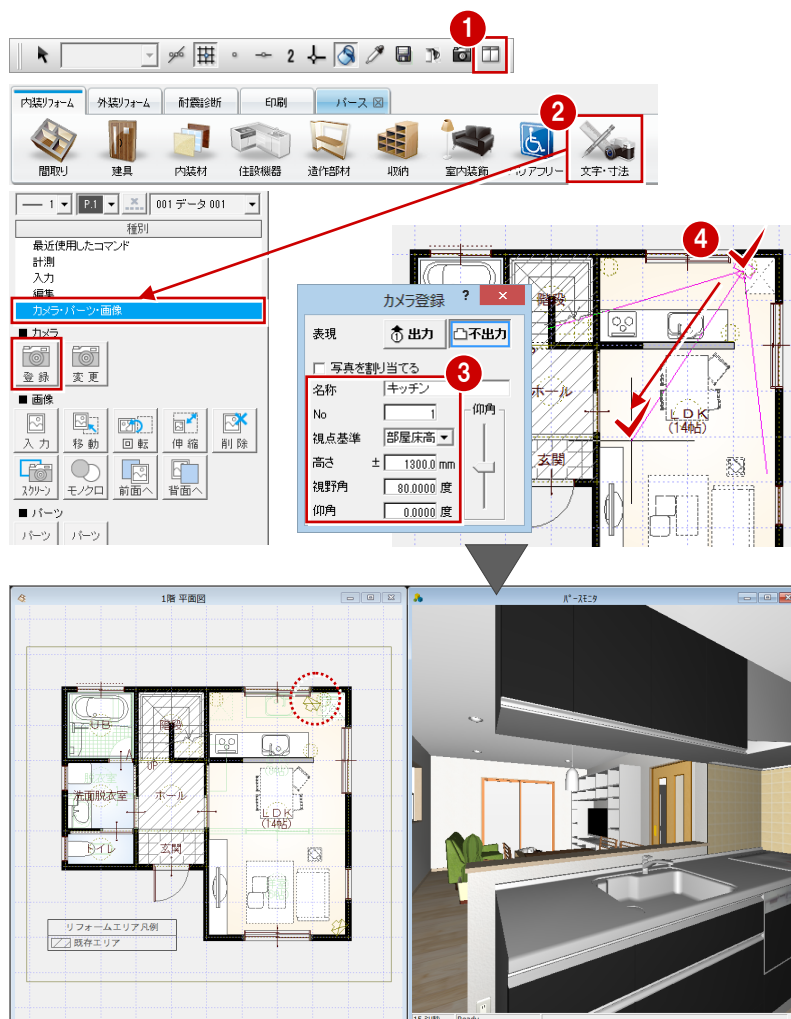
平面図にカメラを登録してパースのカメラとして使用しましょう。

「リフォームプラン作成編」で作成した内観パースに加え、建具を開いたパースや鳥瞰パースなども作成してみましょう。

3-1 視点の設定

図面でカメラを登録する

- 1 フローティングバーの  をクリックして平面とパースを並べて表示します。
- 2 「文字・寸法」をクリックして、「カメラ・パーツ・画像」の「登録」を選びます。
- 3 視点の高さや視野角などを設定します。
ここでは、次のように設定します。
「名称」：キッチン
「高さ」：1300
「視野角」：80
- 4 視点位置、視点方向の順にクリックします。
パースの視点が変わり、図面上にカメラのマークが入力されます。

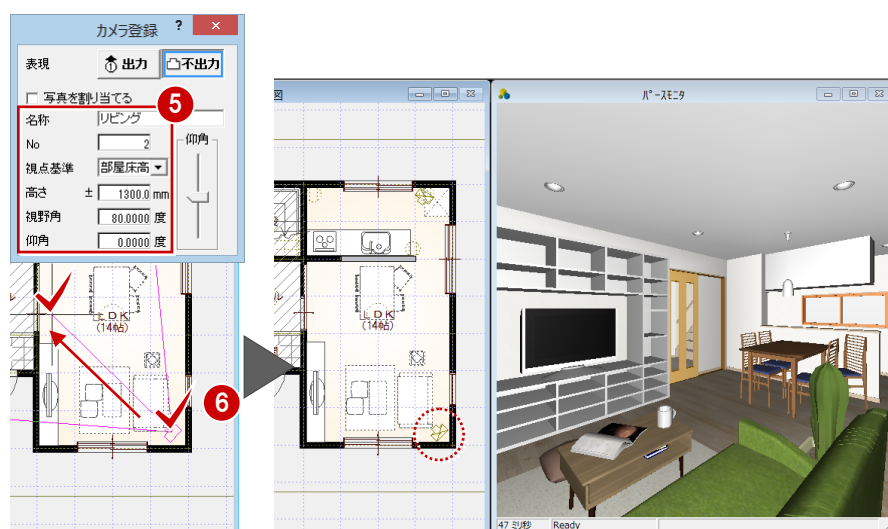


カメラのマークについて

カメラの表現で  を選んだ場合は、カメラのマークが印刷されるようになります。

 出力	ON	 出力なし	ON
			

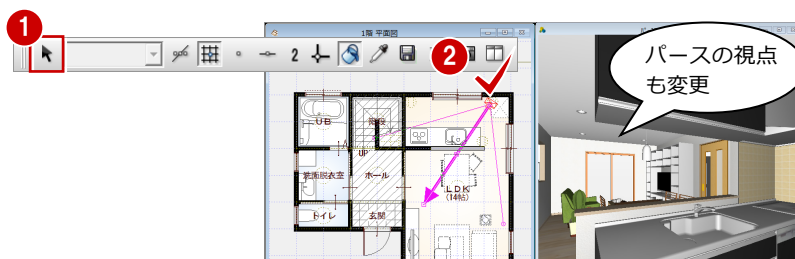
- 5 6 同様に、リビングのカメラも登録しましょう。
「名称」：リビング
「高さ」：1300
「視野角」：80



カメラに画像を設定する

リフォーム前の写真がある場合は、カメラに登録しておくことで計画図のパスと比較できます。ここでは、解説データとして用意されている写真データを、設定したカメラに登録してみましょう。

- 1 2 キッチンカメラを選択します。
- 3 マネージャーの右図のフォルダから写真データ「キッチン 1.jpg」を、カメラのプロパティの「登録画像」にドラッグ＆ドロップします。
- 4 「変更を適用する」をクリックします。

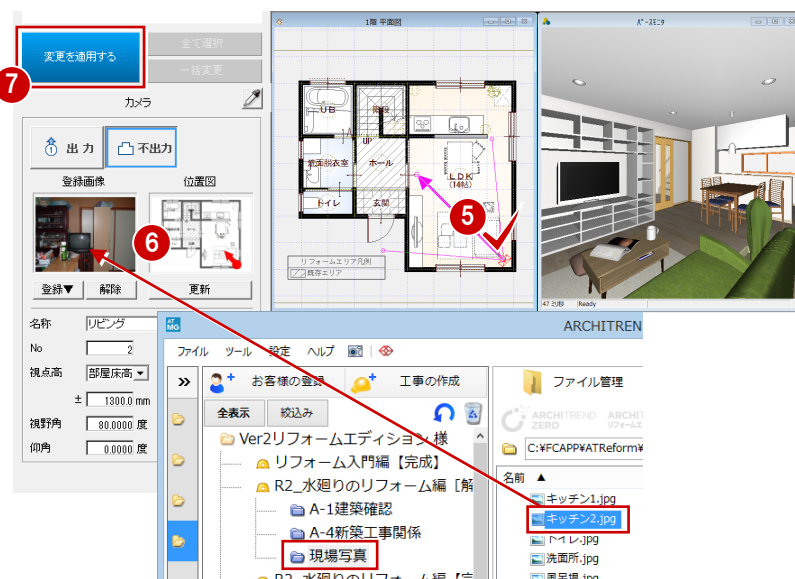
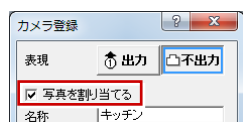


- 5〜7 同様にして、リビングのカメラにも写真データ「キッチン 2.jpg」を登録します。

画像の登録

エクスプローラから画像データをドラッグしても登録できます。

また、カメラの登録時に「写真を割り当てる」をONにすることで、視点登録と同時に画像設定も可能です。



パースにカメラを取り込む

- 1 「パース」タブの「視点」をクリックします。
- 2 フローティングバーの  をクリックしてパースモニタを再作成します。
- 3 「ユーザーカメラ」をクリックすると、ユーザーカメラとして登録されたことを確認できます。
- 4 取り込んだユーザーカメラをクリックすると、カメラに登録した画像が表示されます。



3-2 内観パースの作成

画像を作成する

「レンダリング」をクリックして、「印刷・保存」で各部屋の内観パースを作成します。

⇒ 設定および画像の作成については、「リフォームプラン作成編」P.17、19 参照

－ キッチンのパース －

「視点」：ユーザーカメラの「<No.1>キッチン」

「背景／光源モード」：昼

「品質レベル」：高画質

「調光」：標準

「部品光源」：「1 階・LDK」のすべてを ON



－ リビングのパース －

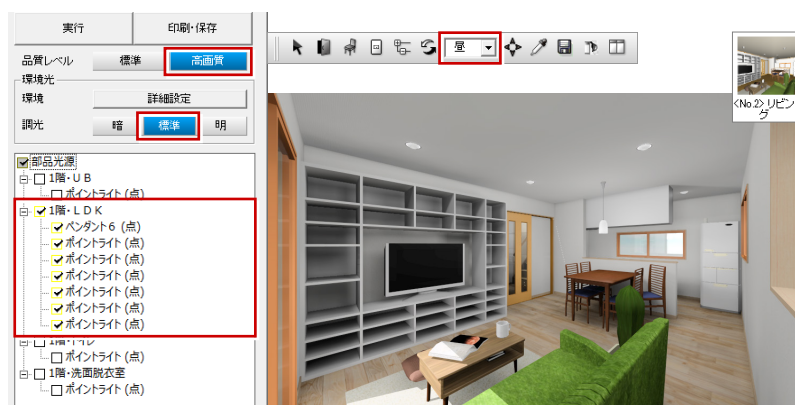
「視点」：ユーザーカメラの「<No.2>リビング」

「背景／光源モード」：昼

「品質レベル」：高画質

「調光」：標準

「部品光源」：「1 階・LDK」のすべてを ON



－ トイレのパース －

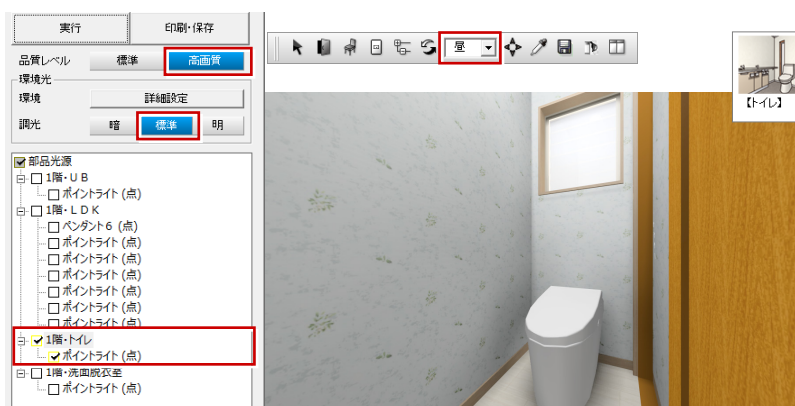
「視点」：システムカメラの【トイレ】

「背景／光源モード」：昼

「品質レベル」：高画質

「調光」：標準

「部品光源」：「1 階・トイレ」の部品を ON



－ ユニットバスのパース －

「視点」：システムカメラの【ユニットバス】

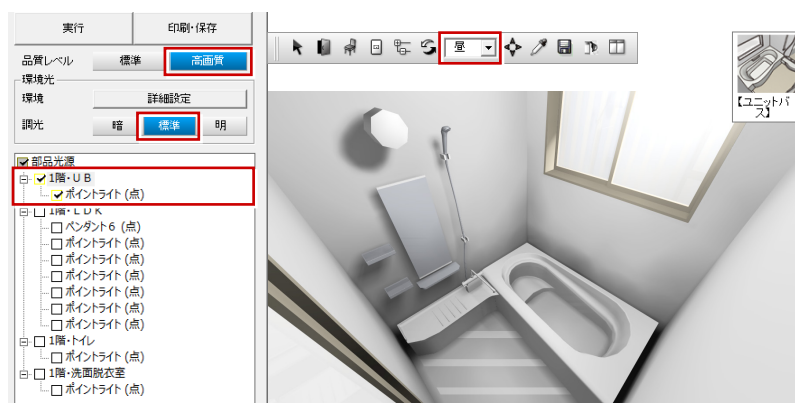
「背景／光源モード」：昼

「品質レベル」：高画質

「調光」：標準

「部品光源」：「1 階・UB」の部品を ON

⇒ 部品光源については、次ページ参照



3 パースの作成

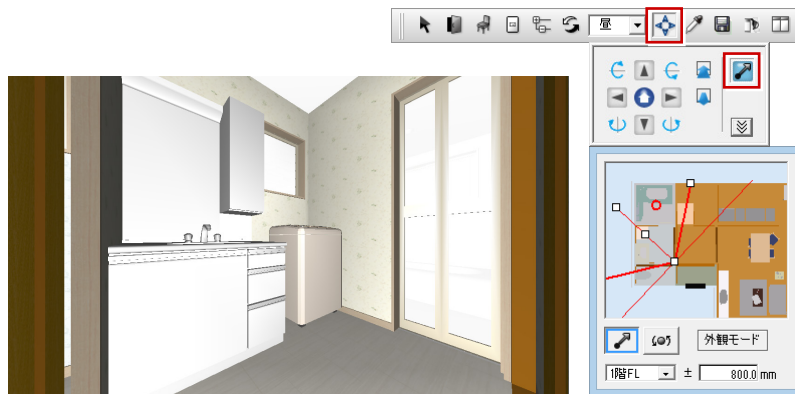
建具を開いたパースを作成する

洗面脱衣室のパースは UB の建具が見える視点で、建具を開いて作成してみましょう。

－ 視点を設定する －

右図のように視点を設定します。

⇒ 視点の設定方法については、「基本操作編」P.18 参照

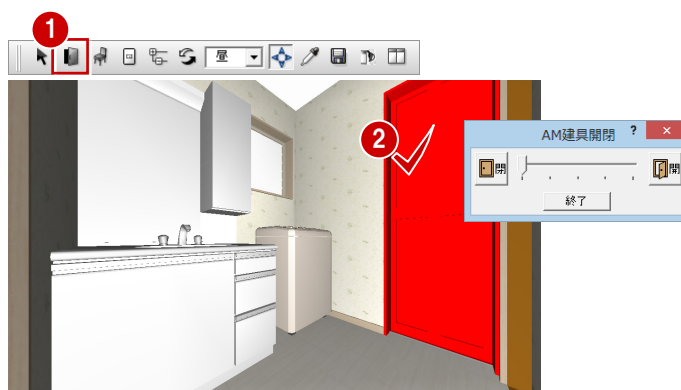


－ 建具を開閉する －

① パース用フローティングバーの  をクリックします。

② 開閉する建具をクリックします。

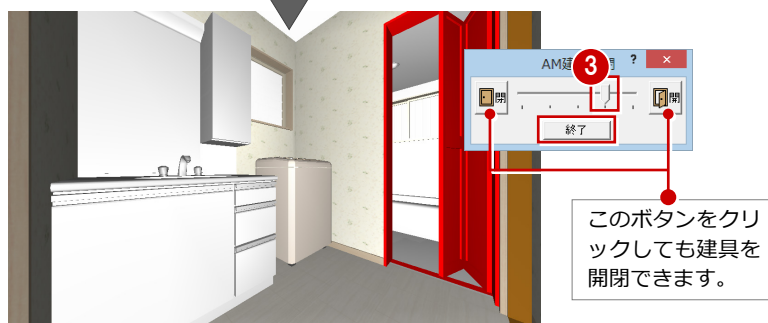
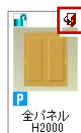
③ 「AM 建具開閉」ダイアログのスライダを動かして開閉率を設定し、「終了」をクリックします。



建具の開閉

「建具選択」ダイアログで開閉可能のマークが付いている建具が対象です。

開閉情報は建具に記憶され、パースモニターで立体の再作成をおこなった場合も開閉は有効です。



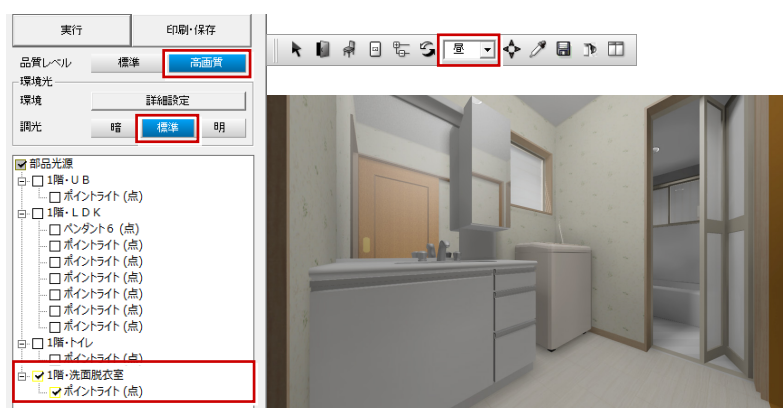
－ 画像を作成する －

「背景／光源モード」：昼

「品質レベル」：高画質

「調光」：標準

「部品光源」：「1 階・洗面脱衣室」の部品を ON

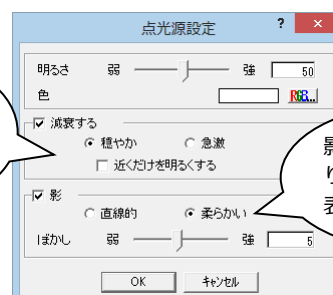


部品光源とは

図面で入力した光源付きの照明器具は、部品光源として部屋別に表示され、光源ごとに点灯・消灯や明るさなどを設定できます（各光源をダブルクリックもしくは「設定」ボタンをクリックすることで右図のダイアログが表示されます）。

点灯している光源の数が多いとレンダリングの処理スピードに影響しますので、最低限の点灯にすることをお勧めします。なお、部品光源の設定は、立体の再作成や図面でのプロパティ変更、移動などにより元に戻りますので、ご注意ください。

光源から受光面までの光の減衰を設定



影の輪郭をはっきりするか、ぼかして表現するかを設定

3-3 鳥瞰パースの作成

立体タイプを変更する

- ① 「立体タイプ」をクリックします。
- ② 「リフォームエリア考慮」を ON にします。
- ③ 「鳥瞰」をクリックします。
リフォームエリア (⇒P.24) を参照して、
鳥瞰パースが作成されます。
- ④ 「背景／光源モード」を「モニタ」に変更
します。

⇒ 立体タイプについては、P.31 参照



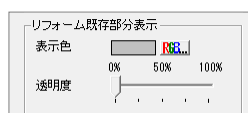
「リフォームエリア考慮」
が OFF の場合 ⇒



リフォームに関係し
ない部分はグレー表
示になります。

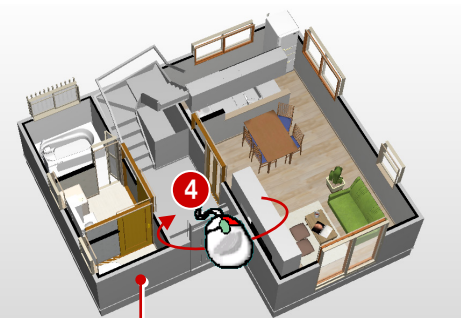
リフォームエリアの色

プルダウンメニューから「設定」の「設定」
を選び、【パースモニタ】の「描画設定」
で設定できます。



鳥瞰の作成条件を変更する

- ① 「詳細条件」をクリックします。
- ② 鳥瞰の作成条件を設定します。
ここでは、切断高を軒高「-1500」に変
更して、「OK」をクリックします。
- ③ 「鳥瞰」をクリックします。
- ④ 視点を設定します。



壁が低くなり、設備機器が
見やすくなります。

画像を作成する

「レンダリング」をクリックして、「印刷・保
存」で画像を作成します。

「背景／光源モード」：モニタ

「品質レベル」：高画質

「調光」：暗



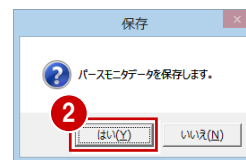
※ 壁が低く、視点が真上に近い場合はレンダリング結果が明るく
なりすぎるため、ここでは調光を「暗」で調節しています。

データを保存する

－ パースモニタデータを保存する －

① パース用フローティングバーの  をクリックします。

② 確認画面で「はい」をクリックします。

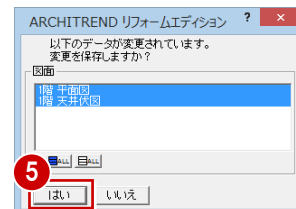


－ 図面データを保存する －

③ 「図面の切り替え」から「平面」を選んで図面に戻ります。

④ フローティングバーの  をクリックします。

⑤ 確認画面で「はい」をクリックします。



再度、内観パースを作成するときは

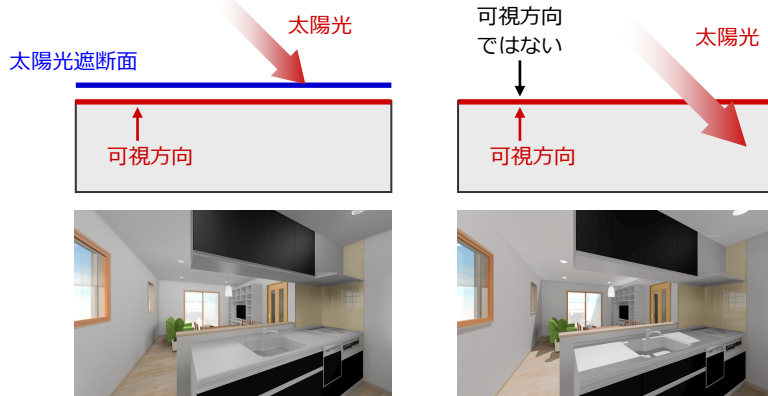
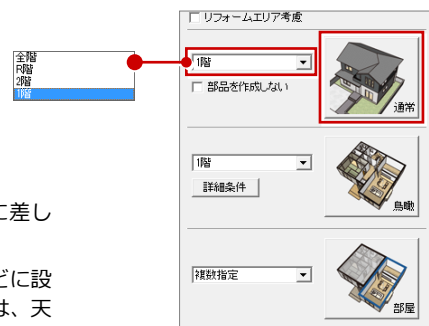
立体タイプの「鳥瞰」を作成後に、再度、内観パースを作成するときは、立体タイプの「通常」を作成します。

このとき、図面を1階しか作成していない場合は、「1階」を選んで「通常」をクリックします。

「1階」で作成した場合、立体データの他に「太陽光遮断面」が自動的に作成されます。「太陽光遮断面」とは、太陽光を使用してレンダリングを行う場合に、仕上面から内観に差し込む太陽光を遮断する面です。

1階しか作成していない場合に「全階」で作成すると、「背景／光源モード」を「昼」などに設定して内観パースのレンダリングを行った場合に太陽光が差し込んでしまいます。これは、天井仕上りが片面可視で作成されており、「可視方向でない」(*)向きに太陽があるためです。

太陽光遮断面を作成、または上階や屋根の立体が存在する場合は、内観に差し込む太陽光を遮断できます。



【太陽光遮断面ありの場合】

【太陽光遮断面なしの場合】

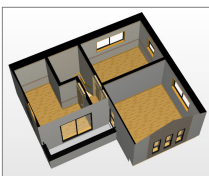
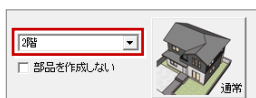
※ 可視方向とは、視覚的に物体(面)を確認できる方向のことをいいます。可視方向となっている面に対しては素材を確認できますが、可視方向でない場合は素材を確認できません(透明となり、上空から見ると内部が見えてしまうことになります)。



なお、パースモニタを開いた図面によって、作成される立体が異なります。

- ・「平面」「天井」から起動したときは、開いている階を指定した「通常」で立体を作成
- ・「屋根」「配置」から起動したときは、「全階」を指定した「通常」の状態で作成

2階 平面図から起動したときはこの状態と同じ



屋根伏図から起動したときはこの状態と同じ



【補足】作成できる立体の種類

立体タイプを変更することによって、パースモニタでは、さまざまな立体を作成できます。

● 通常

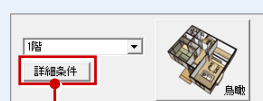
建物全体の立体を作成して、外観パースや内観パースの画像を作成するときに使用します。



● 鳥瞰

作成する階を指定して、鳥瞰の立体を作成します。

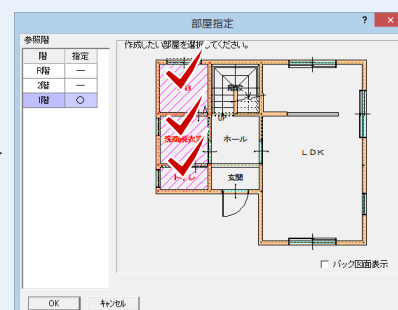
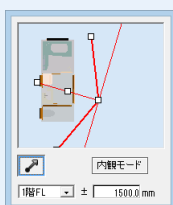
「詳細条件」で、切断高や参照する図面の設定ができます。



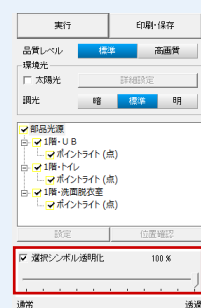
● 部屋

作成する部屋を指定して、部分的に立体を作成します。

部屋の複数指定も可能です。



※ 左図のパースは、洗面脱衣室の建具を選択して「選択シンボル透明化」ON (100%) の状態でレンダリングしています。



4 図面の印刷

作成した図面をレイアウトして、印刷してみましょう。

ここでは、プレゼンボード風の図面枠にレイアウトする流れと、提案シートを作成する流れを解説します。

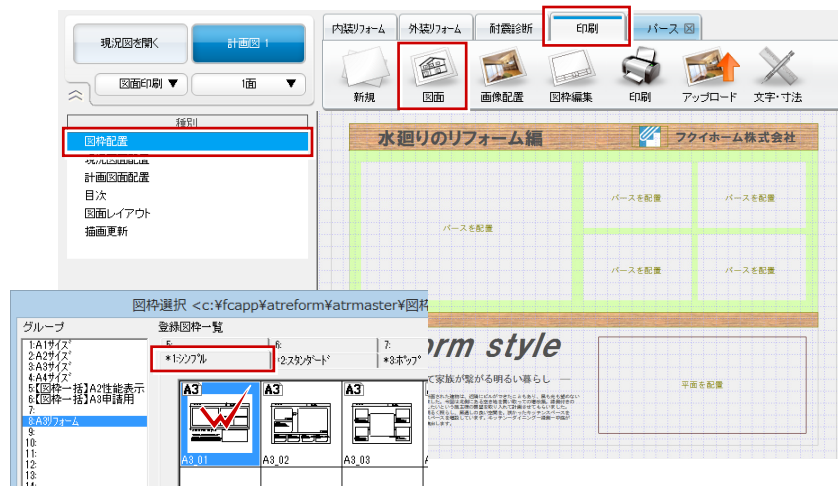
4-1 プレゼンボードの作成

図枠を配置する

「印刷」タブの「図面」をクリックして「図枠配置」を選び、図枠を変更します。

使用する図枠：「1：シンプル」の
「A3_01」

⇒ 図枠の配置については、「リフォームプラン作成編」P.26 参照



図面を配置する

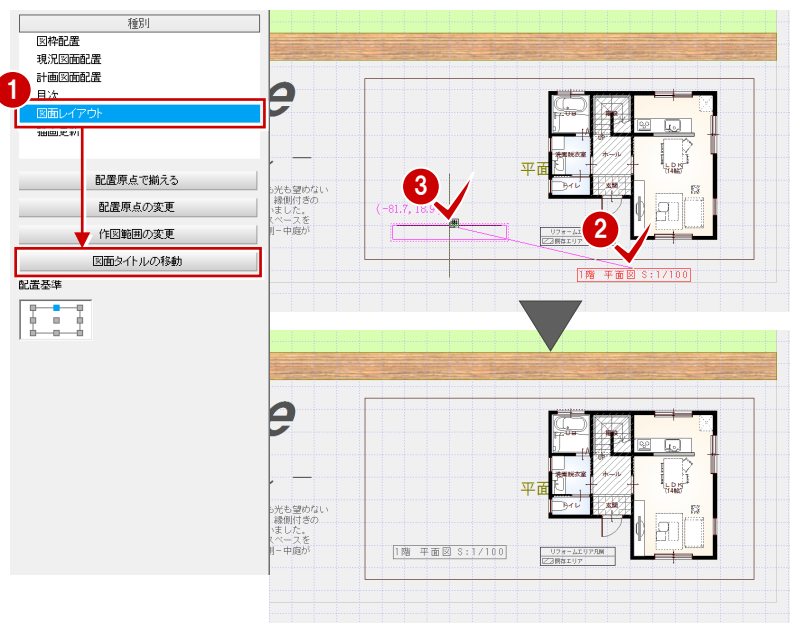
「計画図面配置」をクリックして、1階平面図を配置します。

⇒ 図面の配置については、「リフォームプラン作成編」P.27 参照



図面タイトルを移動する

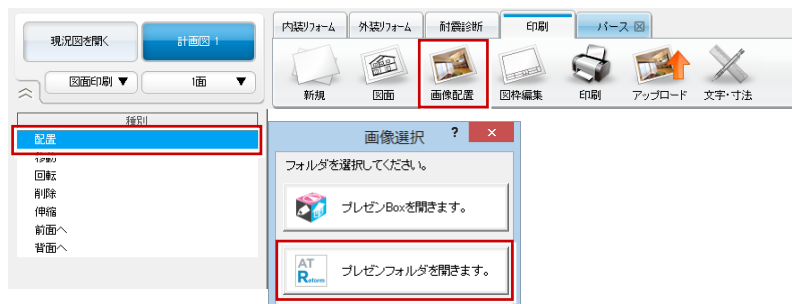
- ① 「図面レイアウト」の「図面タイトルの移動」をクリックします。
- ② タイトル部分をクリックします。
- ③ タイトルの移動先をクリックします。



パースを配置する

「画像配置」をクリックして「配置」を選び、右図のようにパース画像を配置します。

⇒ パースの配置については、「リフォームプラン作成編」P.28 参照

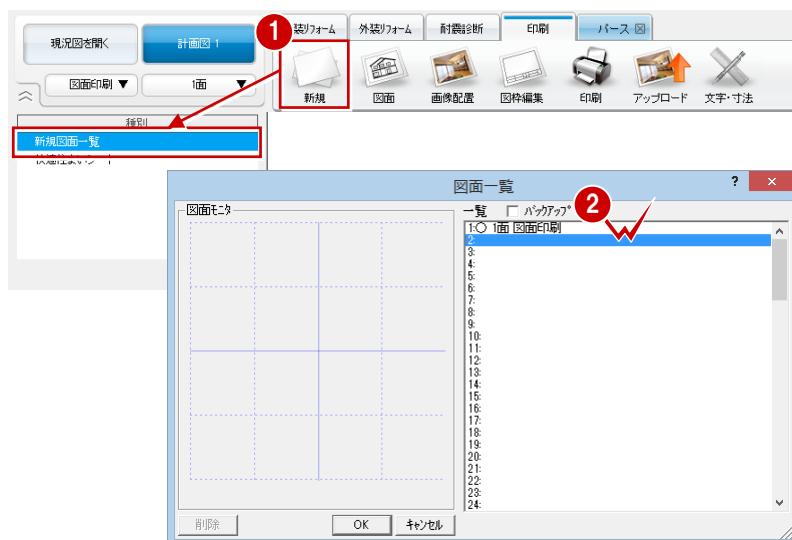


2 面目を開く

- 1 「新規」をクリックして、「新規図面一覧」を選びます。
- 2 「図面一覧」ダイアログで空いている面（ここでは2面）をダブルクリックします。

別の方法

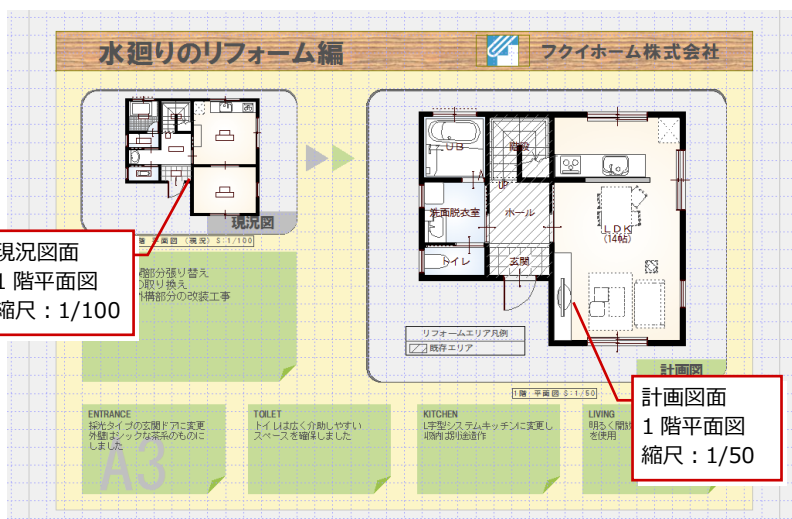
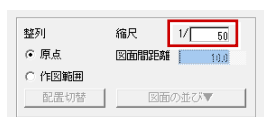
「階・面の切り替え」から「図面一覧」を選んで同様です。



図枠・図面を配置する

1 面と同様にして、図枠と図面を配置します。
使用する図枠：「1：シンプル」の「A3_02」

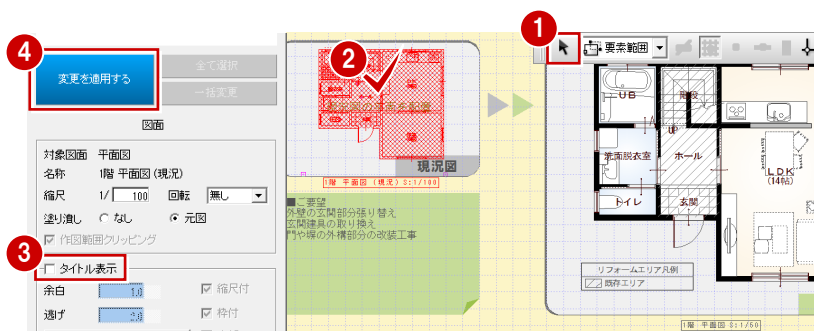
※ 計画図面の1階平面図は、縮尺を「1/50」に変更して配置します。



4 図面の印刷

図面タイトルを非表示にする

- ①② 現況図面の1階平面図を選択します。
- ③ 「タイトル表示」をOFFにします。
- ④ 「変更を適用する」をクリックします。



- ⑤～⑦ 同様にして、計画図面の1階平面図のタイトルも非表示にします。

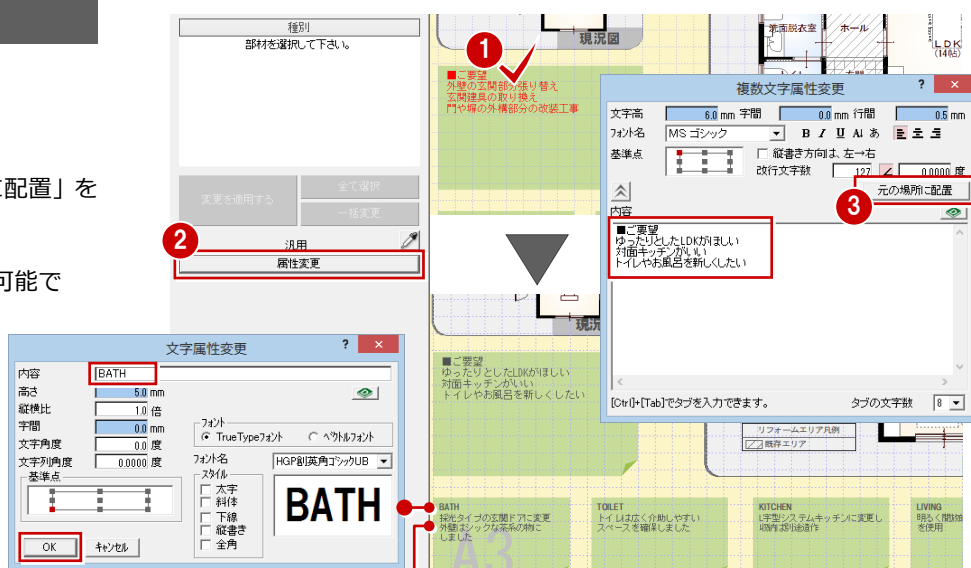


⇒ 図面のプロパティについては、「リフォームプラン作成編」P.31 参照

文字列を変更する

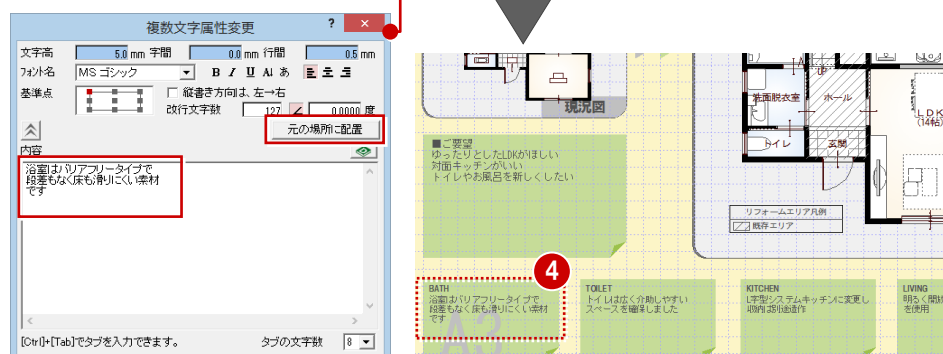
- ① 右図の文字列を選択します。
- ② 「属性変更」をクリックします。
- ③ 文字列を変更して、「元の場所に配置」をクリックします。

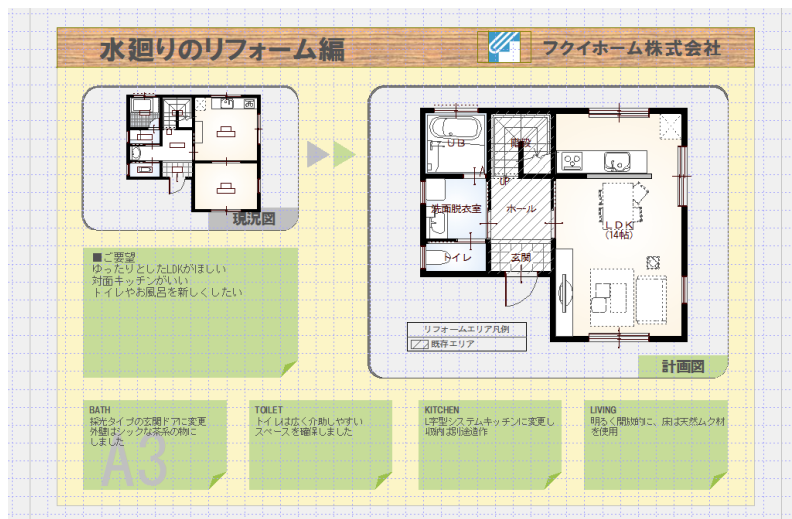
※ 任意の位置に配置し直すことも可能です。



- ④ 同様にして、右図の文字列も変更しましょう。

※ 文字列が1行か複数行かで、表示されるダイアログが異なります。



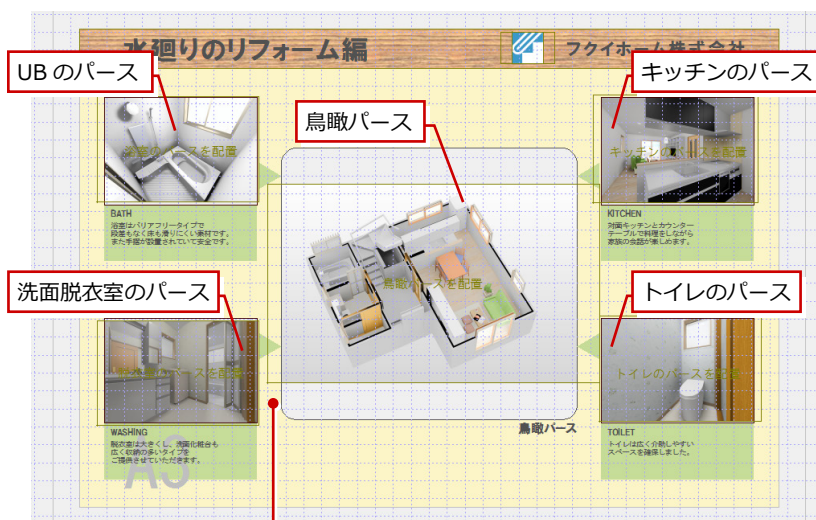


【2 面目の完成データ】

3 面目を作成する

1 面と同様にして、図枠とパースを配置します。

使用する図枠：「1：シンプル」の
「A3_03」

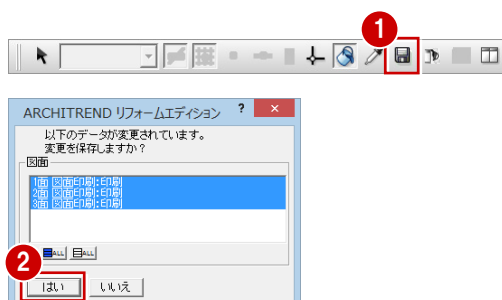


画像と塗り潰しが重なった場合は、
塗り潰しが優先されます。

データを保存する

① フローティングバーの  をクリック
します。

② 確認画面で「はい」をクリックします。



4-2 提案シートの作成

画像を設定する

－ 図面データから画像を自動作成する －

- 1 「新規」をクリックして、「快適住まいシート」を選びます。
- 2 「プレゼン Box」をクリックします。

- 3 「自動作成」をクリックします。

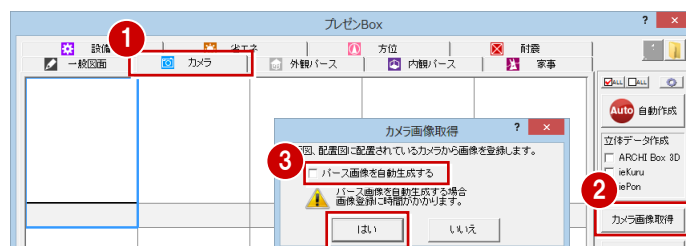
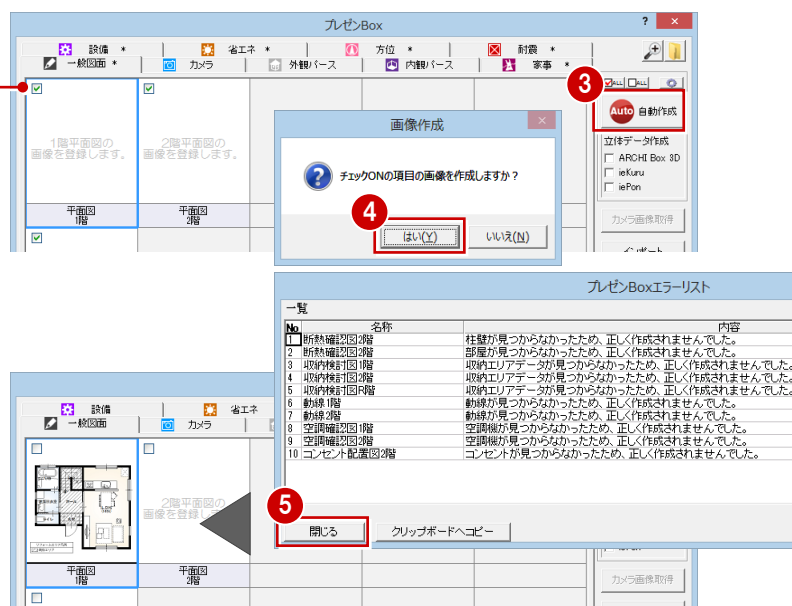
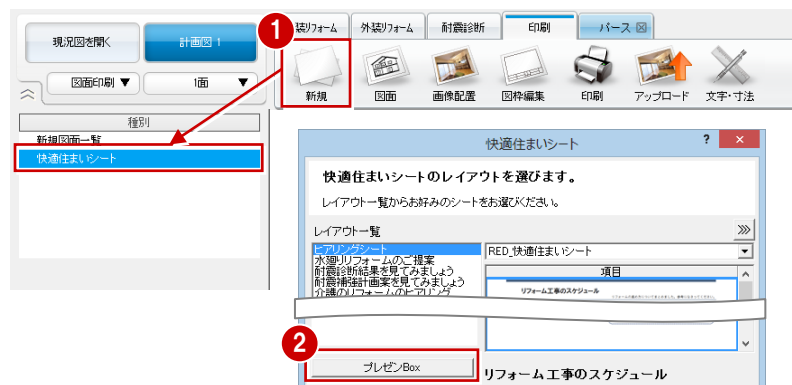
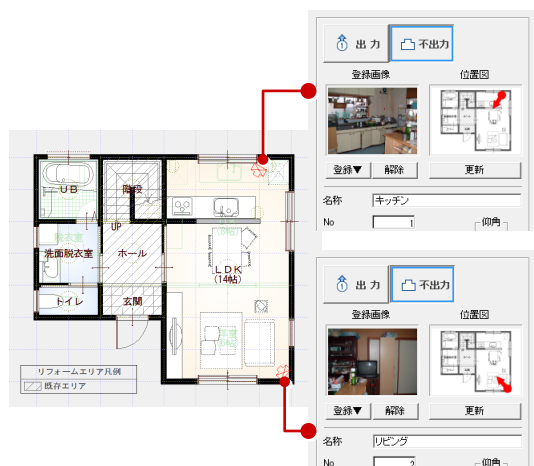
各タブの一覧でチェックが付いている画像が自動作成されます。初期状態では、すべての画像が ON の状態です。

- 4 確認画面で「はい」をクリックします。
- 5 対象となる図面データが存在しない場合はエラーリストが表示されるので、「閉じる」をクリックします。

タブを切り替えて、画像が自動作成されたことを確認しましょう。

－ カメラの情報を取り込む －

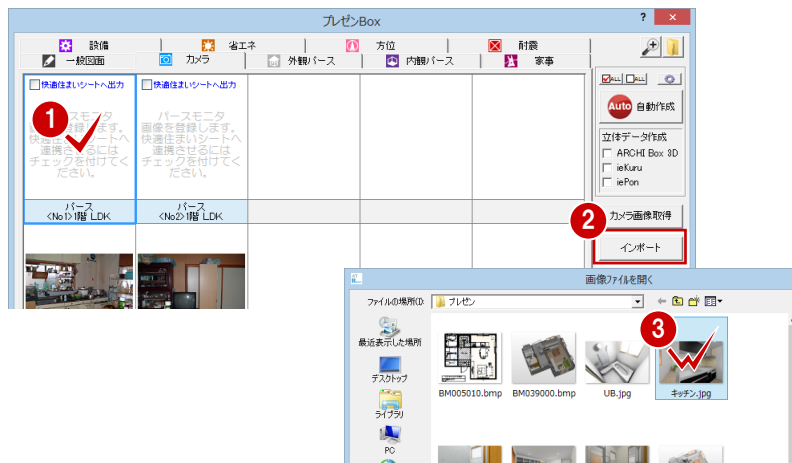
- 1 「カメラ」タブをクリックします。
- 2 「カメラ画像取得」をクリックします。
- 3 「パース画像を自動生成する」を OFF にして、「はい」をクリックします。
平面図のカメラの情報が入ります。



－ 画像ファイルを設定する －

あらかじめ作成しておいた画像ファイルを使用する場合は、次のように設定します。

- 1 画像ファイルを設定する欄をクリックします。
- 2 「インポート」をクリックします。
- 3 画像ファイルをダブルクリックして設定します。



- 4 同様に、もう一方のカメラのパーズにも画像ファイルを設定します。
- 5 「快適住まいシートへ出力」をONにします。ONにしたカメラの情報のみがシートに連動します。



- 6 「外観パーズ」タブに切り替えて、「外観パーズ表紙」にも画像ファイル（ここでは鳥瞰パーズ）を設定します。
- 7 「閉じる」をクリックします。

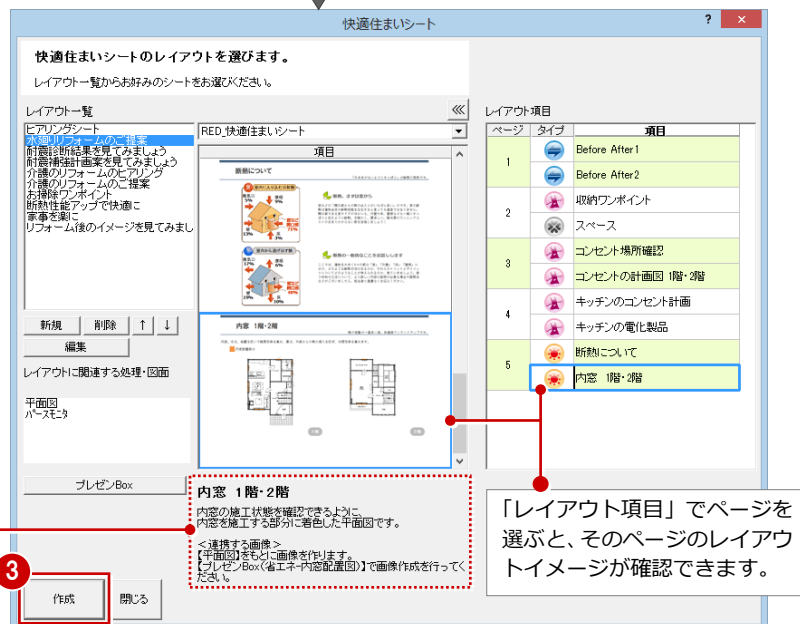
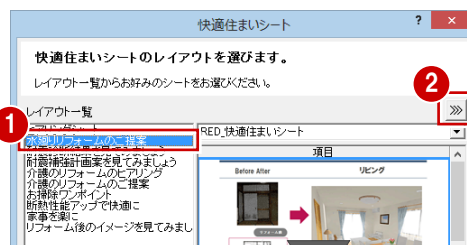
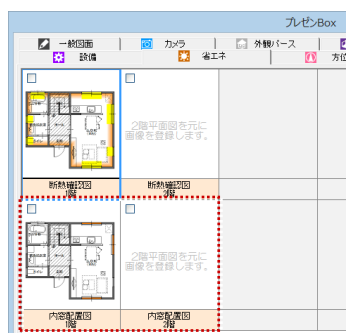


提案シートを作成する

- ① 「レイアウト一覧」から、シートのレイアウト（ここでは「水廻りリフォームのご提案」）を選びます。
- ② 「>>>」をクリックします。
「レイアウト項目」でシートの内容を確認します。

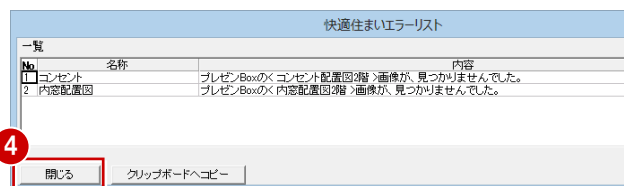
サムネイルをクリックすると、レイアウトに必要な処理や画像・図面データなどを確認できます。

※ このシートでは、プレゼン Box の「省エネ・内窓配置図」の画像を使用します。



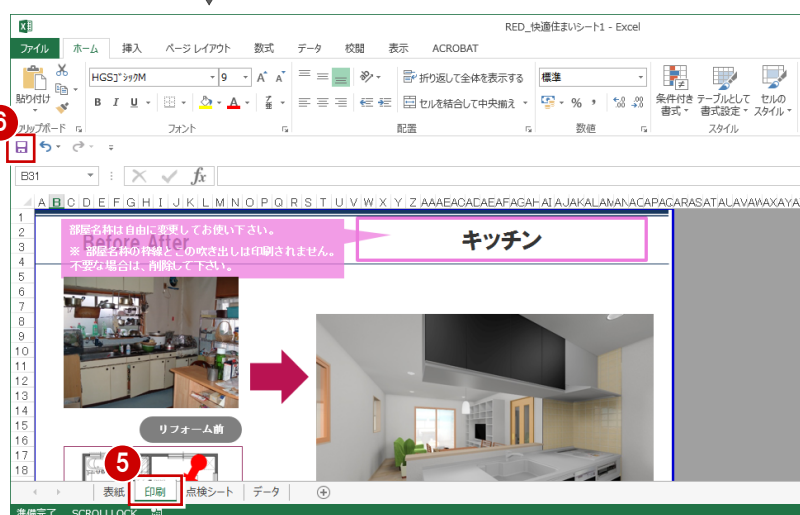
「レイアウト項目」でページを選べば、そのページのレイアウトイメージが確認できます。

- ③ 「作成」をクリックします。
- ④ 対象となる画像が存在しない場合はエラーリストが表示されるので、「閉じる」をクリックします。



Excel が起動して、快適住まいシートが作成されます。

- ⑤ タブを切り替えて確認します。
- ⑥ Excel データを保存します。



⇒ 快適住まいシートの編集や補正については、「リフォーム応用編」P.61～64 参照

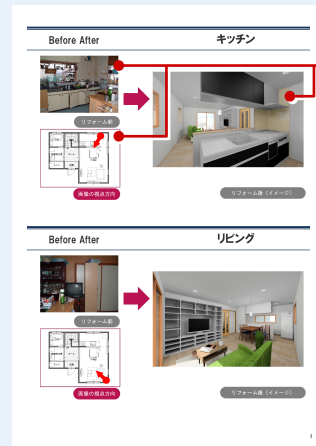
【補足】「水廻りリフォームのご提案」のレイアウトと連動する画像

「水廻りリフォームのご提案」の提案シート（目次等は除く）に連動する画像は、次のようになっています。



【表紙】

プレゼン Box「外観パース
-外観パース表紙」の画像
が連動します。⇒P.37



【Before After】

プレゼン Box「カメラ」で「快適住まいシートへ出力」がON
の画像が連動します。⇒P.37



【収納フポイント】

(連動するデータ・画像なし)

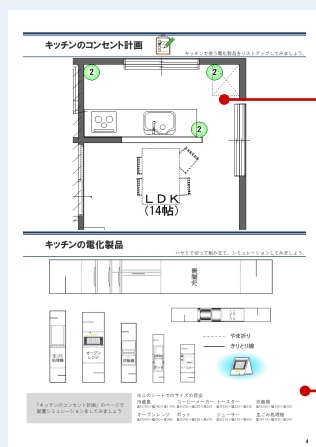


(連動するデータ・画像なし)

プレゼン Box「設備-コン
セント配置図」の画像が連
動します。



【コンセントの場所確認/
コンセントの計画図 1階・2階】



プレゼン Box「設備-キッ
チンコンセント配置図」の
画像が連動します。



(連動するデータ・画像なし)

【キッチンのコンセント計画/
キッチンの電化製品】



(連動するデータ・画像なし)

プレゼン Box「省エネ-内
窓配置図」の画像が連動し
ます。



【断熱について／内窓 1階・2階】